

楽²ライブラリ パーソナル ユーザーズガイド

楽²ライブラリのエクスポート機能によって生成された「ビューア付きデータファイル (*.exe)」は、個人的な範囲を超える使用目的で、無断で複製・転用、およびネットワークを通じて配信することは禁止されています。



a Fujitsu company

はじめに



このたびは、「楽²ライブラリ パーソナル」(らくらくらいぶらり ぱーそなる) をご購入いただき、誠にありがとうございます。

楽²ライブラリは、書類データの管理や閲覧をコンピュータ上で行うためのソフトウェアです。

本書は、楽²ライブラリの概要および操作方法について説明しています。まず、「本書の読み方」をお読みください。

本書が楽²ライブラリを活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

2006年2月 第2版

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の商品名、会社名は、一般に各社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ、および Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED 2006

本書の読み方

本書は、楽²ライブラリの操作について知りたい方を対象に説明しています。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

第1章 楽²ライブラリとは

楽²ライブラリの概要および画面について説明しています。

第2章 動作環境

楽²ライブラリの動作環境について説明しています。

第3章 インストールとアンインストール

楽²ライブラリのインストール方法、アップグレード方法、およびアンインストール方法について説明しています。

第4章 ScanSnap と連携する

楽²ライブラリと ScanSnap を連携する方法について説明しています。この操作は、一度行えば、次回以降は不要です。

第5章 起動 / 終了する

楽²ライブラリの画面（バインダ管理画面 / ビューア画面）を起動する方法および終了する方法について説明しています。

第6章 バインダ管理画面での操作

バインダ管理画面でできる操作について説明しています。

第7章 ビューア画面での操作

ビューア画面でできる操作について説明しています。

第8章 その他の機能

その他の機能について説明しています。

第9章 困ったときには

楽²ライブラリの操作中にトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

第10章 メッセージ

楽²ライブラリの操作中に表示されるメッセージとその対処方法について説明しています。




操作を理解していただくために、第1章～第8章をお読みください。

第9章および第10章は、必要に応じてお読みください。

なお、本書では、Microsoft® Windows® XP Professional の画面写真を操作説明に使用しています。

本書で使用している記号について

本書では、説明に次の記号を使用しています。

記号	説明
	特に注意が必要な事項や、必ず守っていただきたい事項が書かれています。必ずお読みください。
	操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。
	操作の手順について書かれています。

本書での OS の略記について

本書では、以下のように用語を省略して表記しています。

Windows[®] 2000 Professional

Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional operating system 日本語版

Windows[®] XP Professional

Microsoft[®] Windows[®] XP Professional operating system 日本語版

Windows[®] XP Home Edition

Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition operating system 日本語版

なお、Windows[®] XP Professional と Windows[®] XP Home Edition を区別しない場合、Windows[®] XP と表記します。

上記すべてのオペレーティングシステムを総称する場合は、Windows[®] と表記します。

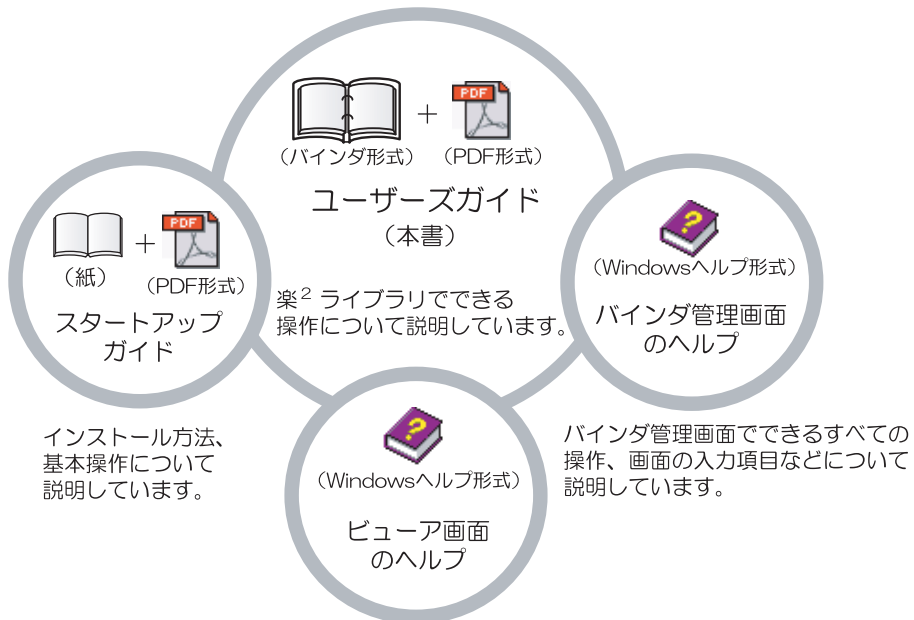
本書で使用している用語について

- ・ 本書では、「楽²ライブラリ パーソナル」を「楽²ライブラリ」と表記しています。
- ・ 本書では、「楽²ビューア」を「ビューア画面」と表記しています。
- ・ 本書では、「ページ」と「原稿」を次のように使い分けています。
 - ページ：表ページまたは裏ページのどちらか一方を示しています。
 - 原稿：表ページと裏ページの両方を示しています。

また、ファイルに関連付けされているアプリケーションのアイコンがページの下部に表示されているページは、「電子データ付きのページ」（「電子データ付きの原稿」）と表記しています。

マニュアルについて

楽²ライブラリのマニュアルには、本書の他に『スタートアップガイド』、『バインダ管理画面のヘルプ』、『ビューア画面のヘルプ』があります。



それぞれのマニュアルは、目的に応じて次のように使い分けてください。

スタートアップガイド

楽²ライブラリのインストール方法、基本的な操作の流れについて知りたいときにお読みください。

『スタートアップガイド』は、製品 CD-ROM のルートディレクトリの直下に「スタートアップガイド.pdf」として PDF 形式でも提供しています。PDF 形式のスタートアップガイドをご覧になるためには、Adobe[®] Acrobat[®]、Acrobat[®] Reader[®]、または Adobe[®] Reader[®] が必要です。

ユーザーズガイド(本書)

楽²ライブラリの操作について知りたいときにお読みください。

『ユーザーズガイド』は、バインダ形式と PDF 形式で提供しています。

バインダ形式の『ユーザーズガイド』は、楽²ライブラリを起動して、「デフォルト書庫」の「デフォルトキャビネット」の「ユーザーズガイド」をダブルクリックすると参照できます。

PDF形式の『ユーザーズガイド』は、以下のどちらかの操作を行うと参照できます。

- ・ [スタート] - [プログラム] - [楽²ライブラリ パーソナル] - [ユーザーズガイド] を選択する
- ・ 製品 CD-ROM のルートディレクトリ直下の「ユーザーズガイド.pdf」を表示する

PDF形式のユーザーズガイドをご覧になるためには、

Adobe[®] Acrobat[®]、Acrobat[®] Reader[®]、または Adobe[®] Reader[®] が必要です。

バインダ管理画面のヘルプ

楽²ライブラリのバインダ管理画面での操作について知りたいときや、バインダ管理画面での操作中（項目を入力するときなど）に分からないことがあったときにお読みください。


バインダ管理画面の [ヘルプ] ボタンをクリックすると表示されます。また、ダイアログボックスの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログボックスの項目についての説明が表示されます。

ビューア画面のヘルプ

楽²ライブラリのビューア画面での操作について知りたいときや、ビューア画面での操作中（項目を入力するときなど）に分からないことがあったときにお読みください。

ビューア画面の [ヘルプ] ボタンをクリックすると表示されます。また、ダイアログボックスの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログボックスの項目についての説明が表示されます。

目次



第1章	楽²ライブラリとは	15
1.1	特長	16
1.2	「書庫」と「キャビネット」と「バインダ」の関係	17
1.3	楽 ² ライブラリの画面	19
1.4	楽 ² ライブラリの画面構成（バインダ管理画面）	20
1.5	楽 ² ライブラリの画面構成（ビューア画面）	22
第2章	動作環境	25
2.1	動作環境	26
	ハードウェアの環境	26
	ソフトウェアの環境	27
	原稿を読み取るスキャナの環境	27
	制限ユーザーでの使用制限	27
2.2	ネットワーク共有時の制限	28
第3章	インストールとアンインストール	29
3.1	インストールする	30
3.2	アンインストールする	36
3.3	アップグレードする	38

第4章	ScanSnap と連携する	41
4.1	S500 と連携する	42
4.2	fi-5110EOX / fi-5110EOX2 / fi-5110EOX3 と 連携する	44
4.3	fi-4110EOX2 / fi-4110EOX3 と連携する	46
第5章	起動 / 終了する	49
5.1	バインダ管理画面を起動 / 終了する	50
	バインダ管理画面を起動する	50
	バインダ管理画面を終了する	51
5.2	ビューア画面を表示 / 終了する	52
	ビューア画面を表示する	52
	ビューア画面を終了する	52
第6章	バインダ管理画面での操作	53
6.1	書庫を作成する	54
6.2	書庫の名前を変更する	55
6.3	書庫を削除する	57
6.4	書庫の表示順を変更する	59
6.5	キャビネットを作成する	61
6.6	キャビネットの名前を変更する	63
6.7	キャビネットを削除する	65
6.8	キャビネットの表示順を変更する	67
6.9	キャビネットの表示形式を切り替える	69
6.10	バインダを作成する	71
6.11	名刺バインダを作成する	73
6.12	未整理バインダを作成する	75
6.13	バインダを編集する	77

7.14 ページにマーカを引く	126
7.15 ページにハイパーリンクを設定する	128
7.16 目次情報を設定する	131
7.17 未読文書を表示する	133
7.18 インデックスシートを付ける	134
7.19 サムネイルを表示する	136
7.20 ページを検索する	138
検索対象となる文字列を設定する	138
目的のページを検索する	140
7.21 テキストを抽出する	141
ページ内で範囲を選択して抽出する	142
取り込み時に自動的に抽出する	143
バインダ内の全ページのテキストを抽出する	144
7.22 ページを印刷する	145
ページを印刷する	145
見開き印刷をする	146
7.23 バインダ内のすべてのページを PDF 保存する	148
7.24 原稿を選択して PDF 保存する	150
7.25 原稿の並び順を変更する	153
7.26 原稿を削除する	155
7.27 原稿を移動（切り取り）する	157
ドラッグ & ドロップによる別バインダへの原稿の 移動	157
クリップボードへの移動	158
7.28 原稿をコピーする	160
7.29 原稿を貼り付ける	162
7.30 複数の原稿を指定する	163
7.31 ページをコピーする	166
7.32 ページを貼り付ける	167

7.33 ページを消去する（白紙にする）.....	168
7.34 ページを削除する	169
7.35 白紙ページを追加する	170
7.36 ページをメール送信する	171
7.37 元のファイルを修正する	173
7.38 元のファイルを削除する	175
7.39 名刺シート（名刺用の原稿）を作成する	176
7.40 名刺を上下反転する	177
7.41 名刺を移動（切り取り）する	178
7.42 名刺をコピーする	179
7.43 名刺を貼り付ける	180
7.44 名刺を削除する	181
7.45 名刺を保存する	182
7.46 名刺を印刷する	183
7.47 名刺をメール送信する	184
7.48 名刺を名刺ファイリング OCR で管理する	185
7.49 動作環境を設定する	186

第 8 章 その他の機能 191

8.1 他のアプリケーションからデータを取り込む	192
8.2 BIP 連携	195
設定ツール	195
8.3 ファイル自動取り込み	198
インストールする	198
設定する	202
データを取り込む	205

第 9 章 困ったときには 207

第 10 章 メッセージ 215

10.1 バインダ管理画面のメッセージ216

10.2 ビューア画面のメッセージ217

索 引 219

第1章



楽²ライブラリとは

この章では、楽²ライブラリの概要および画面について説明します。

1.1 特長

楽²ライブラリとは、書類データの管理^(*)や閲覧を、コンピュータ上で行うためのソフトウェアです。

(*) 楽²ライブラリでは、データはPDFファイルで管理されます。

楽²ライブラリの特長は、以下のとおりです。

- ・ **分かりやすく、使いやすい操作性を実現しています**

実際の本棚から紙のファイルを取り出して見るような感覚で、コンピュータ上で直感的に、ページをめくったり、付箋紙を付けることができます。

- ・ **情報の検索が容易です**

「タイトル」や「付箋紙情報」などの検索条件を指定することで、膨大な量のバインダの中から目的のバインダを、効率よく検索できます。

- ・ **紙の保管スペースが不要です**

書類や原稿を読み取って電子データにし、分類・管理できるため、膨大な量の紙やファイルを保管するスペースが不要になります。

1.2 「書庫」と「キャビネット」と「バインダ」の関係

楽²ライブラリでは、ファイルの管理をコンピュータ上で直感的に行いやすくするために、「書庫」、「キャビネット」、「バインダ」という呼び方でデータを管理しています。

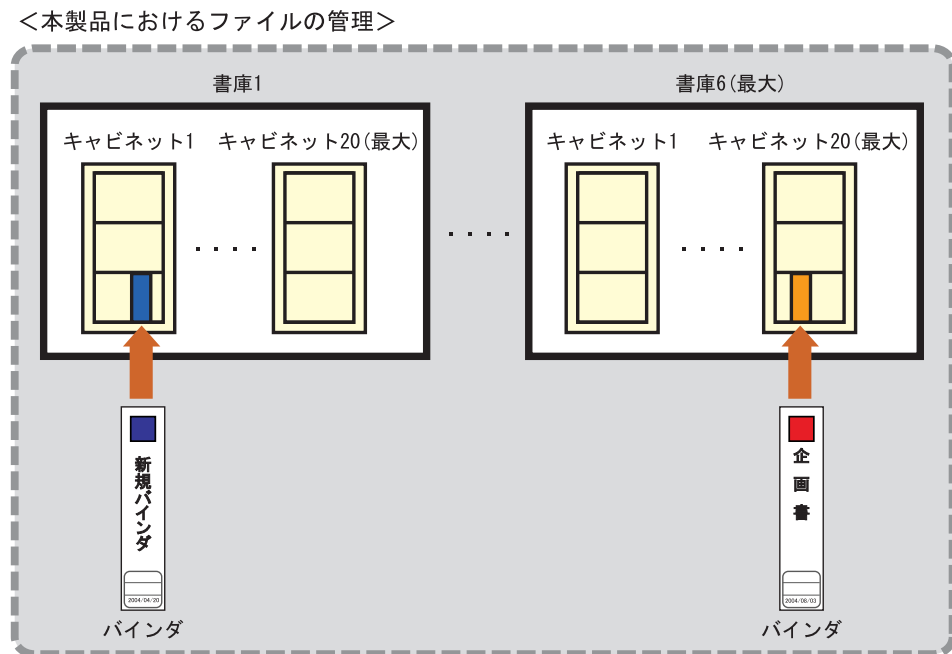
「書庫」、「キャビネット」、「バインダ」のデータの格納先をリンクフォルダといいます。

- ・ 1つのリンクフォルダには「書庫」を最大6個作成できます。
- ・ 「書庫」の中には「キャビネット」を最大20個作成できます。
- ・ 「キャビネット」の中には「バインダ」を最大21個作成できます。

つまり、1つのリンクフォルダには、最大2520個(6×20×21)のバインダを管理できます。リンクフォルダを切り替えることによって、管理できるバインダの数はさらに増えます。

また、1個の「バインダ」で、最大1000ページ管理することができます。

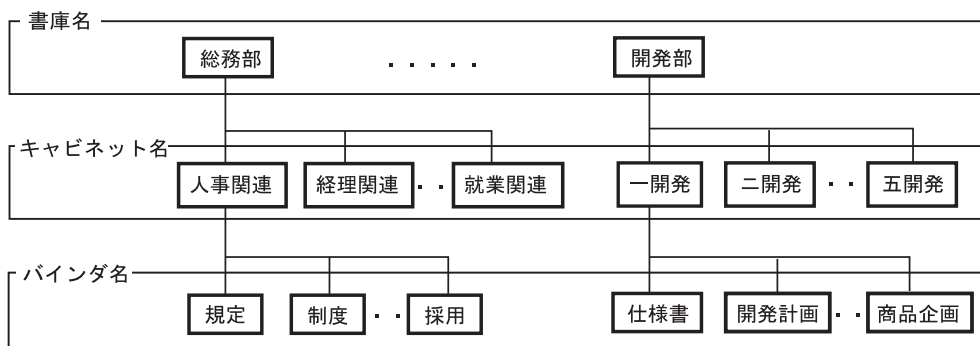
それぞれの関係を以下に示します。



第1章 楽²ライブラリとは

書庫、キャビネット、バインダには、それぞれ任意の名前を設定できます。
たとえば、楽²ライブラリを会社で使用する場合、会社の組織に合わせて名前を付けておくと、わかりやすく、管理もしやすくなります。

例を以下に示します。



1.3 楽²ライブラリの画面

楽²ライブラリには、次の画面があります。

- ・ **バインダ管理画面**

書庫、キャビネット、バインダを管理します。

デスクトップ上に作成されたプログラムアイコンをクリックするか、またはスタートメニューから起動すると、表示されます。

- ・ **ビューア画面**

バインダを閲覧したり、編集したりします。

バインダ管理画面のバインダをダブルクリックすると表示されます。

以下に、画面の流れについて示します。

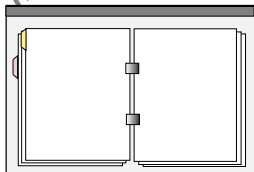
デスクトップ上に作成されたプログラムアイコンをダブルクリックするか、または、スタートメニューから起動。

バインダ管理画面



見たいバインダをダブルクリック

ビューア画面



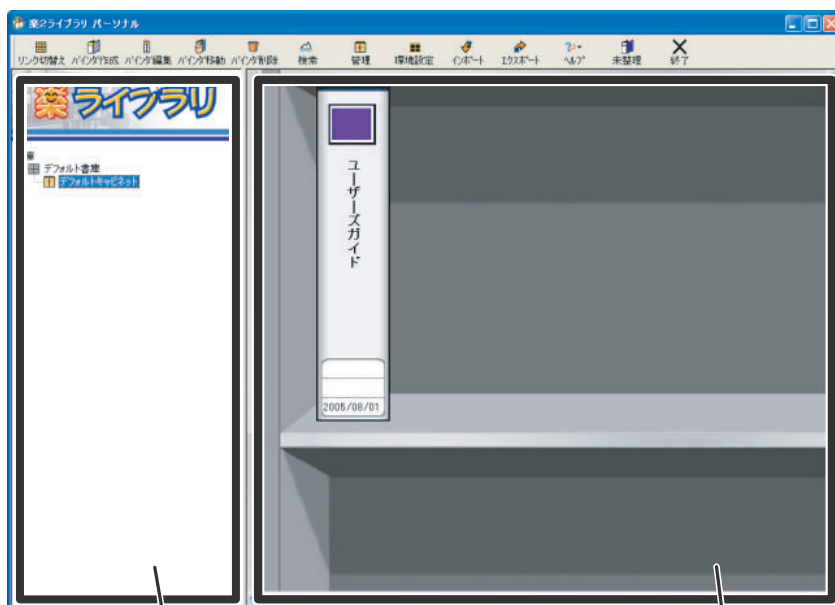
ヒント



それぞれの画面のボタンの詳細は、「1.4 楽²ライブラリの画面構成 (バインダ管理画面)」(20 ページ) および「1.5 楽²ライブラリの画面構成 (ビューア画面)」(22 ページ) を参照してください。

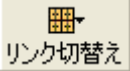


1.4 楽²ライブラリの画面構成 (バインダ管理画面)

ここでは、バインダ管理画面の構成について説明します。



フォルダビュー
バインダを管理している
書庫やキャビネットが
表示されます。

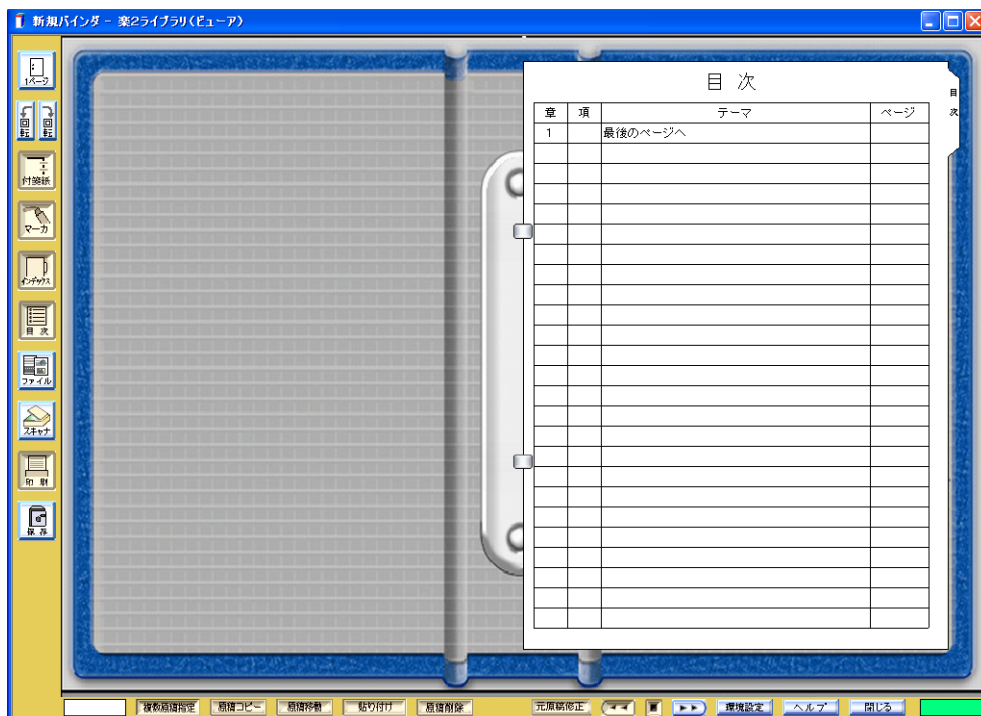
バインダビュー
キャビネットで管理されている
バインダが表示されます。




バインダ管理画面のボタン		ボタンの説明
 リンク切替え	【リンク切替え】 ボタン	リンクフォルダを一時的に切り替えます。
 バインダ作成	【バインダ作成】 ボタン	バインダを作成します。
 バインダ編集	【バインダ編集】 ボタン	バインダの名前や日付を設定します。










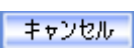
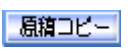

バインダ管理画面のボタン		ボタンの説明
	【バインダ移動】 ボタン	バインダの保管場所を移動します。
	【バインダ削除】 ボタン	バインダを削除します。
	【検索】ボタン	目的のバインダを検索します。
	【管理】ボタン	書庫とキャビネットを作成・変名・削除します。
	【環境設定】 ボタン	書庫、キャビネット、バインダのデータの格納先を変更します。
	【インポート】 ボタン	楽 ² ライブラリで出力された PDF ファイルを取り込んで、バインダ形式にします。
	【エクスポート】 ボタン	バインダを PDF 形式やビューア付きデータファイルにして出力します。
	【ヘルプ】ボタン	バインダ管理画面のヘルプを表示します。 また、楽 ² ライブラリのバージョン情報を確認できます。
	【未整理】ボタン	未整理バインダを作成します。
	【終了】ボタン	バインダ管理画面を終了します。

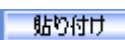




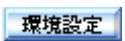
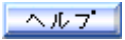


1.5 楽²ライブラリの画面構成 (ビューア画面)

ここでは、ビューア画面の構成について説明します。



ビューア画面のボタン		ボタンの説明
	[1ページ] ボタン	ページを1ページで表示します(1ページモード)。見開きでページを表示しているときに表示されます。
	[見開き] ボタン	ページを見開きで表示します(見開きモード)。1ページでページを表示しているときに表示されます。
	[左回転] ボタン	ページを左に90度回転します。

ビューア画面のボタン		ボタンの説明
	[右回転] ボタン	ページを右に 90 度回転します。
	[付箋紙] ボタン	ページ上に付箋紙を付けます。
	[マーカ] ボタン	ページ上にマーカを引きます。
	[インデックス] ボタン	バインダ内のページを区分するために、インデックスシートを挿入します。
	[目次] ボタン	目次ページに目次情報を設定します。 バインダ内に目次ページが作成されている場合に設定できます。
	[ファイル] ボタン	ファイル（電子データ）を取り込んで、バインダにページを追加します。
	[スキャナ] ボタン	原稿を読み取って、バインダにページを追加します。 読み取ることができるのは、TWAIN 対応のスキャナです。
	[印刷] ボタン	ページを印刷します。
	[保存] ボタン	バインダ内のすべてのページを、PDF 形式にして出力し、保存します。
	[複数原稿指定] ボタン	複数の原稿を指定します。
	[キャンセル] ボタン	複数原稿の指定状態を解除します。
	[原稿コピー] ボタン	選択した原稿をクリップボードにコピーします。
	[原稿移動] ボタン	選択した原稿を切り取って、クリップボードに移動します。

ビューア画面のボタン		ボタンの説明
	【貼付け】 ボタン	クリップボードにコピーまたは移動した原稿やページを、表示しているページの前に貼り付けます。
	【原稿削除】 ボタン	選択している原稿を削除します。
	【元原稿修正】 ボタン	ファイル取り込みした元のファイル(電子データ)を修正します。
	【<<】ボタン	左方向に連続して自動でページをめくります。
	【□】ボタン	ページの連続めくりを停止します。
	【>>】ボタン	右方向に連続して自動でページをめくります。
	【環境設定】 ボタン	動作環境を設定します。
	【ヘルプ】ボタン	ビューア画面のヘルプを表示します。
	【閉じる】ボタン	ビューア画面を閉じます。
	【←】ボタン	右側のページでクリックすると、左側のページを表示します。 左側のページでクリックすると、ページをめくります。 1ページモードのときに表示されます。
	【→】ボタン	左側のページでクリックすると、右側のページを表示します。 右側のページでクリックすると、ページをめくります。 1ページモードのときに表示されます。
	【↑】ボタン	表示されているページの上部を表示します。 1ページモードのとき、およびページを左右に90度回転させたときに表示されます。
	【↓】ボタン	表示されているページの下部を表示します。 1ページモードのとき、およびページを左右に90度回転させたときに表示されます。

第2章



動作環境

この章では、楽²ライブラリの動作環境について説明します。

2.1 動作環境

楽²ライブラリが動作するために必要なハードウェアとソフトウェアの環境、および原稿を読み取る場合のスキヤナの環境は以下のとおりです。

ハードウェアの環境

項目		条件
本体		Windows [®] が動作する DOS/V 互換機
CPU		Pentium II 450MHz 以上
搭載メモリ		256M バイト以上 (* 1)
ディスク容量	システムドライブ	10M バイト以上の空き容量 (* 2)
	インストール先ドライブ	150M バイト以上の空き容量 (* 3)
ディスプレイの解像度		800 × 600 ピクセル以上
ディスプレイの色数		ハイカラー (16 ビット) 以上

(* 1) カラーデータを扱う場合は、512M バイト以上を推奨。

(* 2) カラーデータを扱う場合は、約 400M バイト以上の空き容量と仮想メモリ (ページングファイルサイズ) の指定を行う必要がある。

(* 3) 楽²ライブラリを利用して作成されるデータの容量を除く。

ソフトウェアの環境

項目	条件
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">• Windows® 2000 Professional• Windows® XP

原稿を読み取るスキャナの環境

項目	条件
スキャナ	<ul style="list-style-type: none">• TWAIN 対応のスキャナ• ScanSnap (S500、fi-5110EOX、fi-5110EOX2、fi-5110EOX3、fi-4110EOX2、fi-4110EOX3)

制限ユーザーでの使用制限

制限ユーザー権限でログインした場合、以下の使用制限があります。

- プリンタ (Raku2 ImageWriter) のポートが、初期設定 [Raku2 Port (ローカルポート)] の場合、電子ファイルの取り込みや他アプリケーションの印刷メニューからのデータ取り込みには使用できません。プリンタのプロパティでポートを [LPT (プリンタポート)] に設定してご使用ください。
- ファイル自動取り込み機能 (楽² ライブラリ 連携ソフトウェア) は使用できません。

2.2 ネットワーク共有時の制限

楽2ライブラリでは、ネットワーク上の共有フォルダにデータを格納して運用することができます。ただし、他のユーザーが使用中のデータについては、操作が制限されます。

ネットワーク共有時の制限項目は、以下のとおりです。

- ・ **他のユーザーが同一書庫を使用中に禁止される操作**
 - 書庫管理
- ・ **他のユーザーが同一キャビネットを使用中に禁止される操作**
 - キャビネット管理
 - キャビネット内のバインダのドラッグ&ドロップ
 - 他キャビネットへのバインダ移動（移動画面、ドラッグ&ドロップ）
 - アクセス日時順のバインダ整列
- ・ **他のユーザーが同一バインダを使用中に禁止される操作**
 - バインダの設定
 - バインダの削除
 - バインダのエクスポート
 - 他のユーザーが開いているバインダが存在するキャビネット管理

他のユーザーがバインダを開いている場合、同一のバインダを開こうとすると「このバインダはすでに開かれています。閲覧モードで開きますか?」というメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、バインダが閲覧モードで開かれます。



- ・ 閲覧モードでは、設定変更や、元原稿および原稿の操作はできません。
- ・ 付箋紙やマーカの追加は可能ですが、上書き保存はできません。保存したい場合は「名前をつけて保存」をすることになります。

第3章



インストールとアンインストール

この章では、以下の方法について説明します。

- ・ 楽²ライブラリのインストール方法
- ・ 楽²ライブラリのアンインストール方法
- ・ 楽²ライブラリのアップグレード方法

3.1 インストールする

インストールは、楽²ライブラリのインストールと楽²ビューア（ビューア画面）のインストールの2ステップあります。

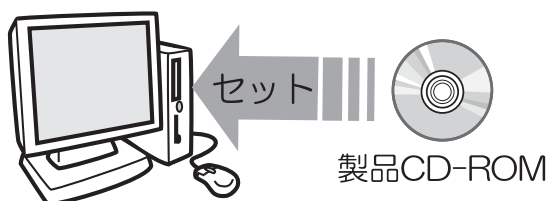
楽²ライブラリをインストールしたあと、続けて、楽²ビューアをインストールします。



- ・ インストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。
- ・ Windows[®] 2000 Professional の場合、必ず Administrators 権限でログインしてください。
- ・ Windows[®] XP Professional の場合、必ず Administrators 権限またはコンピュータの管理者権限でログインしてください。
- ・ Windows[®] XP Home Edition の場合、必ずコンピュータの管理者権限でログインしてください。

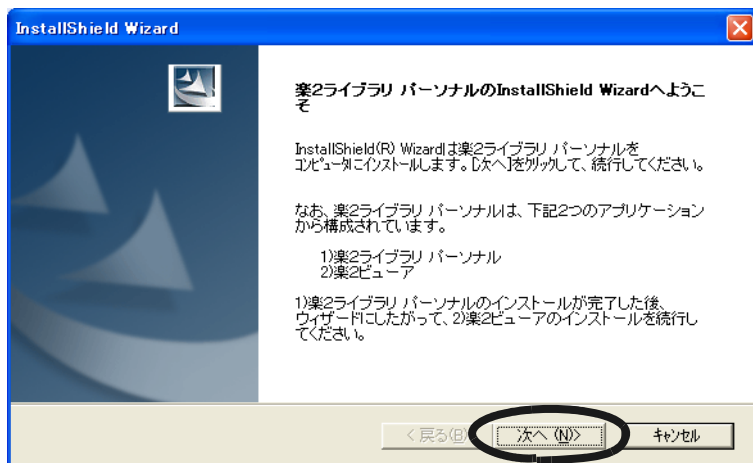


1. 製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。



インストールを開始する画面が表示されます。

2. [次へ] ボタンをクリックします。



「使用許諾契約」の画面が表示されます。

3. 「使用許諾契約」の内容を確認して、[はい] ボタンをクリックします。

[いいえ] ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

楽²ライブラリをインストールする場合は、使用許諾契約に同意してください。

[はい] ボタンをクリックすると、「情報」の画面が表示されます。

4. 「情報」の内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

「情報」には、インストール時の注意事項など、本書には記載されていない注意事項や参考になる情報が記載されています。必ず確認してください。

「インストール先の選択」の画面が表示されます。

5. インストール先を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

通常は、インストール先を変更する必要はありません。そのまま [次へ] ボタンをクリックします。

「プログラムフォルダの選択」の画面が表示されます。



インストール先を変更する場合は、[参照] ボタンをクリックします。[ディレクトリの選択] ダイアログボックスが表示されるので、そこでインストールするフォルダを選択します。

6. プログラムフォルダ名を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

通常は、プログラム フォルダ名を変更する必要はありません。そのまま [次へ] ボタンをクリックします。

「ファイル コピーの開始」の画面が表示されます。

7. インストールする内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

楽² ライブラリがインストールされます。

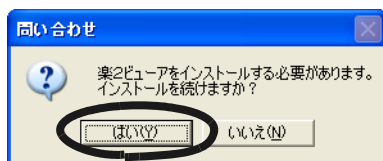
インストールが完了すると、「InstallShield Wizard の完了」の画面が表示されます。

8. [完了] ボタンをクリックします。

楽² ビューア (ビューア画面) をインストールするかどうかのメッセージが表示されます。

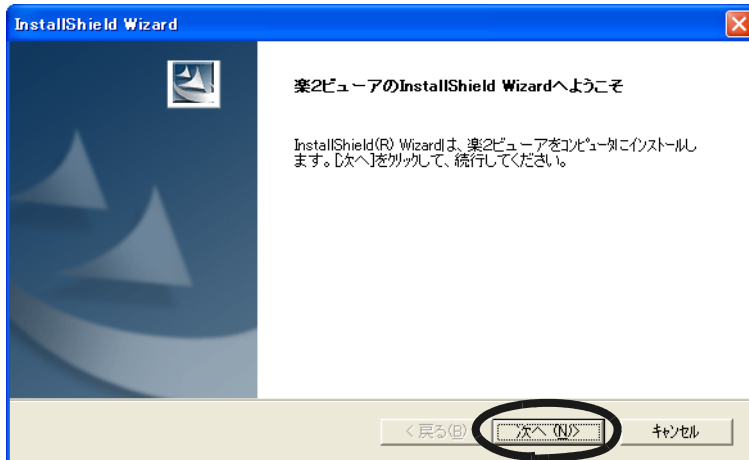
続けて、ビューア画面をインストールします。

9. [はい] ボタンをクリックします。



ビューア画面のインストールを開始する画面が表示されます。

10. [次へ] ボタンをクリックします。



「使用許諾契約」の画面が表示されます。

11. 「使用許諾契約」の内容を確認して、契約に同意する場合は [はい] ボタンをクリックします。

[いいえ] ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

ビューア画面をインストールする場合は、使用許諾契約に同意してください。

[はい] ボタンをクリックすると、「情報」の画面が表示されます。

12. 「情報」の内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

「情報」には、インストール時の注意事項など、本書には記載されていない注意事項や参考になる情報が記載されています。必ず確認してください。

「インストール先の選択」の画面が表示されます。

13. インストール先を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

通常は、インストール先を変更する必要はありません。そのまま [次へ] ボタンをクリックします。

「プログラム フォルダの選択」の画面が表示されます。



インストール先を変更する場合は、[参照] ボタンをクリックします。[ディレクトリの選択] ダイアログボックスが表示されるので、そこでインストールするフォルダを選択します。

14. プログラムフォルダ名を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

通常は、プログラム フォルダ名を変更する必要はありません。そのまま [次へ] ボタンをクリックします。

「ファイル コピーの開始」の画面が表示されます。

15. インストールする内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

ビューア画面がインストールされます。

インストールが完了すると、「セットアップ完了」の画面が表示されます。

16. [完了] ボタンをクリックします。

製品がインストールされます。

再起動を要求された場合、コンピュータを再起動してください。



- ファイル取り込み時のイメージ変換には、ファイルに関連付けられているアプリケーションの印刷機能が使用されます。
- ビューア画面だけをインストールする場合、以下の手順でインストールします。
 1. 製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。
 2. 「Raku2lib」フォルダの「View」フォルダにある「Setup.exe」をダブルクリックします。
 3. インストールを開始する画面が表示されるので、画面に従ってインストールを進めます。詳細は、33 ページの「10.[次へ] ボタンをクリックします。」以降を参照してください。

3.2 アンインストールする

ここでは、Windows® XP Professional の場合を例に説明します。
選択するボタンや項目の名前は、オペレーティングシステムによって異なりますので、それぞれのボタンや項目を選択してください。



一度でもファイル取り込み（イメージ変換）を行った場合、
コンピュータを再起動してからアンインストールしてください。



「共有ファイルの検出」という確認メッセージが表示されることがあります。この場合、「はい」を選択してください。



1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] を順に選択します。

コントロールパネルが表示されます。

2. 「プログラムの追加と削除」のアイコンをダブルクリックします。

[プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。

3. インストールされているプログラムの一覧から、「楽2 ライブラリ パーソナル」を選択します。

4. [変更と削除] ボタンをクリックします。

ファイルの削除を確認するメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。

楽² ライブラリがアンインストールされます。

アンインストールが終了すると、アンインストールが終了したことを知らせる画面が表示されます。

6. [完了] ボタンをクリックします。

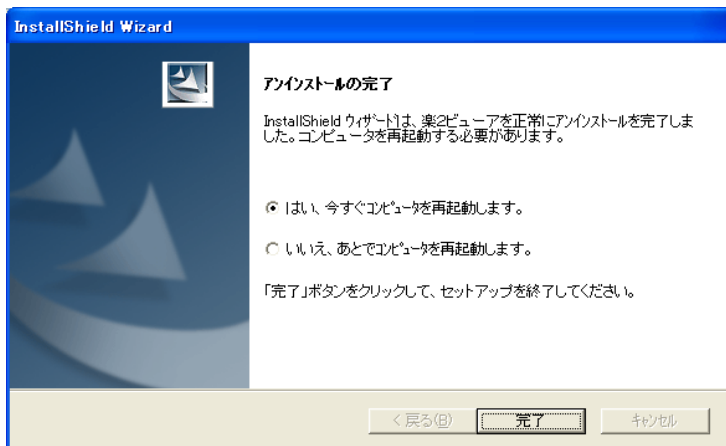
ビューア画面をアンインストールするかどうか確認するメッセージが表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックします。

ビューア画面がアンインストールされます。

アンインストールが終了すると、アンインストールが終了したことを知らせる画面が表示されます。

8. 今すぐ再起動するか、あとから再起動するかを選択して、 [完了] ボタンをクリックします。



アンインストールが完了します。

3.3 アップグレードする

楽² ライブラリをアップグレードする場合、次の手順で行います。



- ・ 「楽² ライブラリ 連携ソフトウェア」の旧バージョンがインストールされている場合は、「楽² ライブラリ 連携ソフトウェア」の旧バージョンをアンインストールしてからアップグレードしてください。
- ・ インストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。
- ・ Windows[®] 2000 Professional の場合、必ず Administrators 権限でログインしてください。
- ・ Windows[®] XP Professional の場合、必ず Administrators 権限またはコンピュータの管理者権限でログインしてください。
- ・ Windows[®] XP Home Edition の場合、必ずコンピュータの管理者権限でログインしてください。



1. 旧製品をアンインストールします。

アンインストール方法の詳細は、「3.2 アンインストールする」(36 ページ)を参照してください。

2. 新しい製品をインストールします。

インストール方法の詳細は、「3.1 インストールする」(30 ページ)を参照してください。

楽² ライブラリがアップグレードされます。



楽²ライブラリをアップグレードしても、バイнда形式の
ユーザーズガイドは更新されません。

新しい製品のユーザーズガイドをバイнда形式で表示する
場合は、製品 CD-ROM の「UsersGuide_Binder」にある
「ユーザーズガイド .pdf」をインポートします。

バイндаをインポートする方法については、「6.20 バイндаを
取り込む（インポート）」(91 ページ)を参照してください。

第 4 章

ScanSnap と連携する

この章では、楽²ライブラリと ScanSnap を連携する方法について説明します。
この章で説明する操作は、一度行えば、次回以降は不要です。



ヒント

ScanSnap は、両面原稿をカラーで読み取ることができるスキャナ装置です。

ScanSnap を使用する場合、スキャナのボタンを押すだけで、書類をバインダに取り込むことができます。

ScanSnap は、別途 購入する必要があります。



まって!

楽²ライブラリと連携できる機種は以下のとおりです。

- S500
- fi-5110EOX
- fi-5110EOX2
- fi-5110EOX3
- fi-4110EOX2
- fi-4110EOX3

以下の機種は対象外となります。

- fi-4110EOX
- fi-4010SSF
- fi-4010SSF2

4.1 S500 と連携する

ここでは、楽 2 ライブラリと ScanSnap S500 を連携する方法について説明します。



- ScanSnap Manager の設定画面の、以下の項目は無効となります。
 - 読み取った PDF ファイルにパスワードをつけます
 - 読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプをつけます
 - 読み取り後、ファイル名を変更します
 - 読み取りモードの[カラーモードの選択]における「カラー高圧縮」
- S500 で読み取りを行う場合、[ファイル形式]タブの[オプション]ボタンをクリックし、表示される[オプション]ダイアログボックスの PDF ファイルオプションを「すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします」に設定してください。
- タスクトレイの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「読み取り結果の通知」のチェックをはずしておくことを推奨します。





1. ScanSnap Manager の設定画面を起動します。
2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」で、「楽2ビューア」を選択します。



3. [OK] ボタンをクリックします。

楽²ライブラリと ScanSnap が連携されます。

4.2 fi-5110EOX / fi-5110EOX2 / fi-5110EOX3 と連携する

ここでは、楽²ライブラリと ScanSnap (fi-5110EOX / fi-5110EOX2 / fi-5110EOX3) を連携する方法について説明します。



- fi-5110EOX、fi-5110EOX2、fi-5110EOX3 で読み取りを行う場合、[ファイル形式]タブの[オプション]ボタンをクリックし、表示される[オプション]ダイアログボックスのPDFファイルオプションを「すべてのページを1つのPDFファイルにします」に設定してください。
- fi-5110EOX、fi-5110EOX2、fi-5110EOX3 で読み取りを行う場合、タスクトレイの「ScanSnap Manager」アイコンを右クリックし、「読み取り結果の通知」のチェックをはずしておくことを推奨します。
- 楽²ビューアと連携する場合は、ScanSnap Manager の [読み取りと保存に関する設定]ダイアログボックスの[保存先]タブの「読み取り後、ファイル名を変更する」はチェックしないでください。





1. ScanSnap Manager の設定画面を起動します。
2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」で、「楽2ビューア」を選択します。



3. [OK] ボタンをクリックします。

楽² ライブラリと ScanSnap が連携されます。

4.3 fi-4110EOX2 / fi-4110EOX3 と連携する

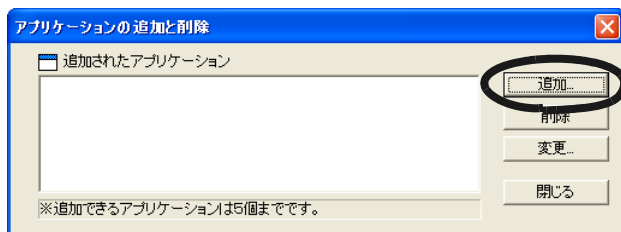
ここでは、楽²ライブラリと ScanSnap! (fi-4110EOX2、 fi-4110EOX3) を連携する方法について説明します。



1. ScanSnap Monitor の設定画面を起動し、[アプリ選択] タブの [追加と削除] ボタンをクリックします。

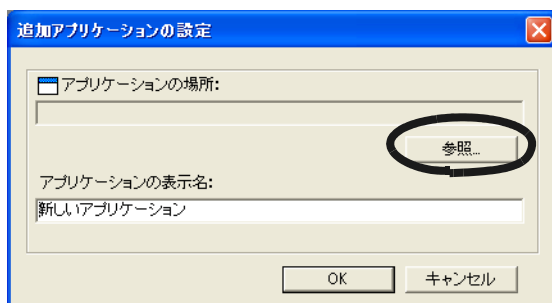
[プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。

2. [追加] ボタンをクリックします。



[追加アプリケーションの設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. [参照] ボタンをクリックします。



[追加するアプリケーションの選択] ダイアログボックスが表示されます。

4. ビューア画面 (楽² ビューア) がインストールされているフォルダ内の「SSLaunch.exe」を設定して、[開く] ボタンをクリックします。

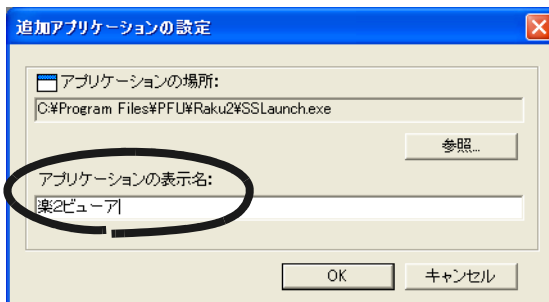
例) C: ¥ Program Files ¥ PFU ¥ Raku2 ¥ SSLaunch.exe



楽² ライブラリのショートカットアイコンを選択しないでください。

[追加アプリケーションの設定] ダイアログボックスの「アプリケーションの場所」に、設定内容が表示されます。

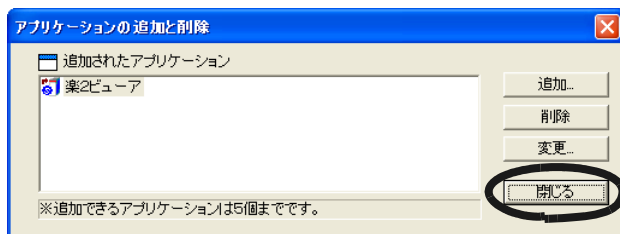
5. 「アプリケーションの表示名」で、手順「4.」で設定した「SSLaunch.exe」に対応させる表示名を、分かりやすい名称に変更します。



6. [OK] ボタンをクリックします。

[プログラムの追加と削除] ダイアログボックスに、設定内容が表示されます。

7. [閉じる] ボタンをクリックします。



8. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」で、手順「5.」で設定した表示名を選択します。



9. [OK] ボタンをクリックします。

楽²ライブラリと ScanSnap が連携されます。

第5章



起動 / 終了する

この章では、楽²ライブラリの画面（バインダ管理画面 / ビューア画面）を起動する方法および終了する方法について説明します。

バインダ管理画面を終了する

操作




1. バインダ管理画面の  をクリックします。

ヒント



ディスプレイの解像度が 800 × 600 ピクセルの場合、

バインダ管理画面の  ボタンは画面に表示されま

せん。

ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックして終了してください。

5.2 ビューア画面を表示 / 終了する

ビューア画面の表示方法と終了方法を説明します。

ビューア画面を表示する



1. バインダ管理画面で、閲覧したいバインダをダブルクリックします。または、バインダの背表紙上で右クリックし、[バインダを開く]を選択します。

ビューア画面が表示され、バインダを閲覧できます。

ビューア画面を終了する



1. ビューア画面の をクリックします。



- ページを追加・編集した場合、バインダを更新するかどうかのメッセージが表示されます。バインダを更新してもよければ、[はい] ボタンをクリックしてください。
- ディスプレイの解像度が 800 × 600 ピクセルの場合、ビューア画面の ボタンは画面に表示されません。ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックして終了してください。

第 6 章




バインダ管理画面での操作

この章では、バインダ管理画面でできる操作について説明します。

6.1 書庫を作成する

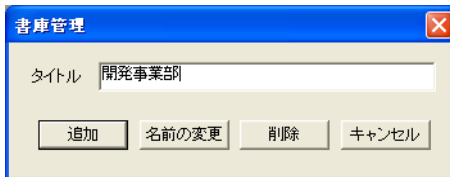
キャビネットを管理するための書庫を作成します。
書庫は、最大 6 個まで作成できます。



1. バインダ管理画面の  をクリックし、[書庫管理] を選択します。
または、ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、[書庫の作成] を選択します。

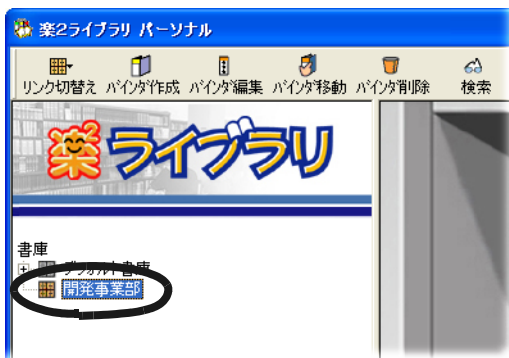
[書庫管理] ダイアログボックスが表示されます。

2. 作成する書庫の名前を全角 20 文字 (半角 40 文字) 以内で入力します。



3. [追加] ボタンをクリックします。

書庫が作成されます。

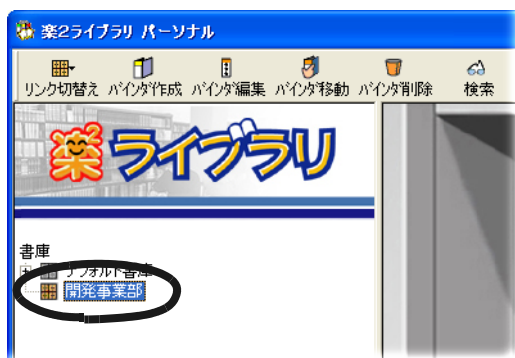



6.2 書庫の名前を変更する

作成した書庫の名前を変更します。



1. 名前を変更したい書庫をツリーから選択します。

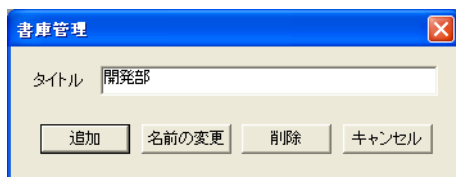


2. バインダ管理画面の  をクリックし、[書庫管理] を選択します。

または、ツリーの書庫上で右クリックし、[名前の変更] を選択します。

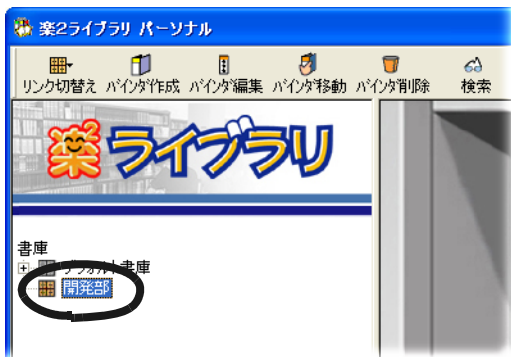
[書庫管理] ダイアログボックスが表示され、選択した書庫の名前が表示されます。

3. 新しい書庫の名前を全角 20 文字（半角 40 文字）以内で入力します。



4. [名前の変更] ボタンをクリックします。

書庫の名前が変更されます。



6.3 書庫を削除する

不要になった書庫を削除します。



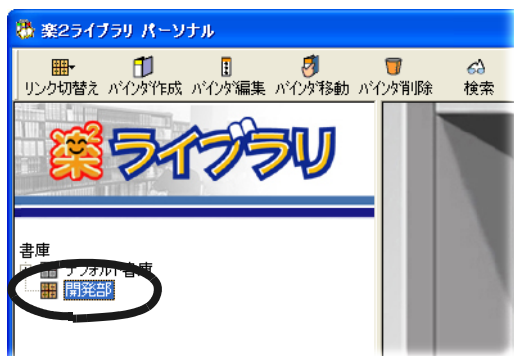
書庫内にキャビネットが存在する場合は削除できません。
書庫内のキャビネットを削除してから、書庫を削除してください。



操作



1. 削除したい書庫をツリーから選択します。



2. バインダ管理画面の をクリックし、[書庫管理] を選択します。

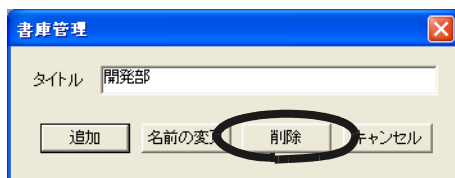
[書庫管理] ダイアログボックスが表示され、選択した書庫の名前が表示されます。



ヒント

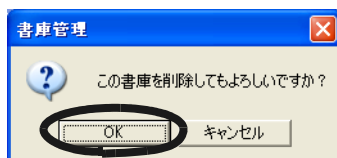
ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、[削除] を選択することによっても削除できます。この場合、すぐに手順4. のメッセージが表示されます。

3. [削除] ボタンをクリックします。



メッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。



書庫が削除されます。

6.4 書庫の表示順を変更する

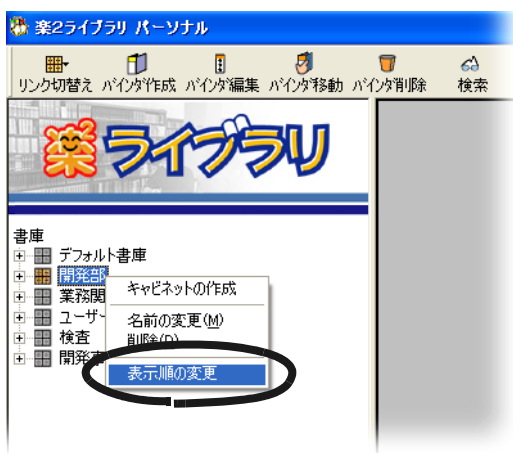
フォルダビューに表示されている書庫の順番を変更します。

操作

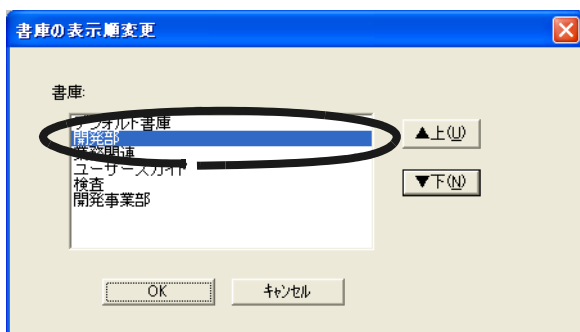


1. ツリーの書庫上で右クリックし、[表示順の変更]を選択します。

[書庫の表示順変更]ダイアログボックスが表示されます。



2. 「書庫」で、順番を変更したい書庫を選択します。



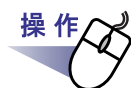
3. [上] ボタンと[下] ボタンで順番を変更します。

4. [OK] ボタンをクリックします。

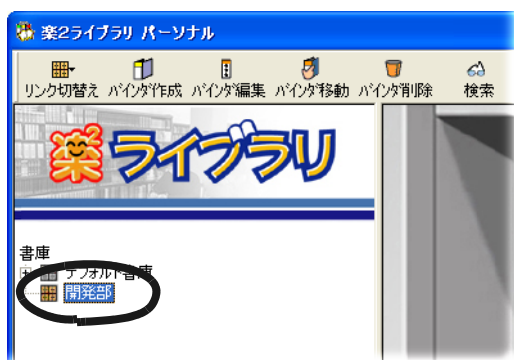
書庫の表示順が変更されます。

6.5 キャビネットを作成する

書庫の中に、バイндаを管理するためのキャビネットを作成します。
キャビネットは、1つの書庫に対して、最大20個まで作成できます。



1. キャビネットを作成する書庫をツリーから選択します。

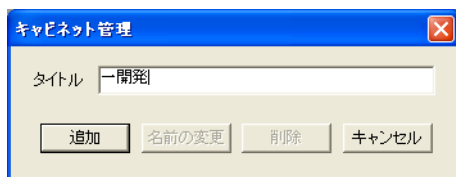


選択した書庫の内容が表示されます。

2. バインダ管理画面の をクリックし、[キャビネット管理] を選択します。 または、ツリーの書庫上でマウスを右クリックし、 [キャビネットの作成] を選択します。

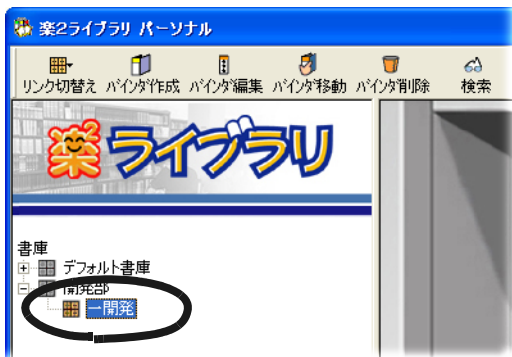
[キャビネット管理] ダイアログボックスが表示されます。

3. キャビネットの名前を全角 16 文字 (半角 32 文字) 以内で入力します。



4. [追加] ボタンをクリックします。

書庫にキャビネットが作成されます。

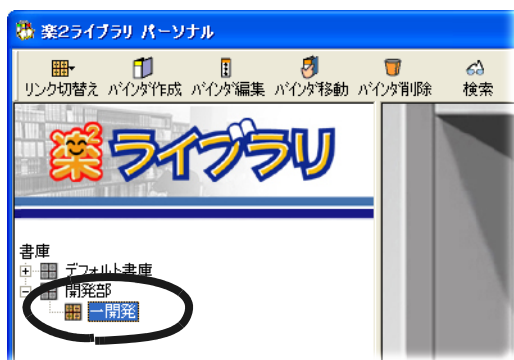


6.6 キャビネットの名前を変更する

作成したキャビネットの名前を変更します。



1. 名前を変更するキャビネットをツリーから選択します。

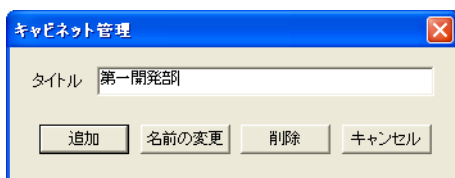


選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. バインダ管理画面の をクリックし、[キャビネット管理] を選択します。 または、ツリーのキャビネット上でマウスを右クリックし、[名前の変更] を選択します。

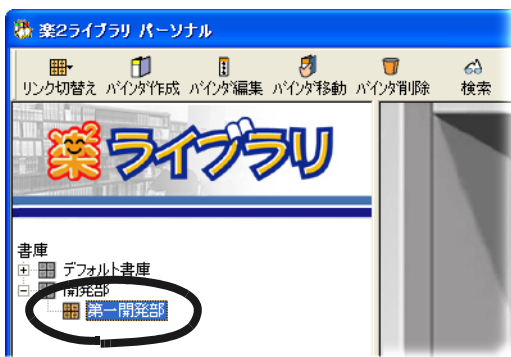
[キャビネット管理] ダイアログボックスが表示され、選択したキャビネットの名前が表示されます。

3. 新しいキャビネットの名前を全角 16 文字（半角 32 文字）以内で入力します。



4. [名前の変更] ボタンをクリックします。

キャビネットの名前が変更されます。



6.7 キャビネットを削除する

不要になったキャビネットを、書庫から削除します。

まって!

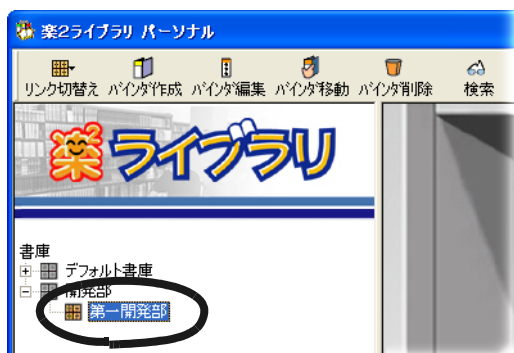


キャビネット内にバインダが存在する場合は削除できません。
キャビネット内のバインダを削除してから、キャビネットを削除してください。

操作



1. 削除するキャビネットをツリーから選択します。



2. バインダ管理画面の をクリックし、[キャビネット管理] を選択します。

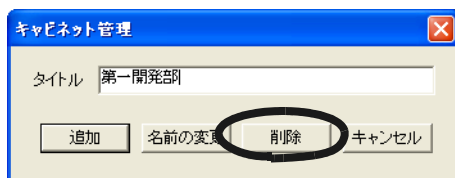
[キャビネット管理] ダイアログボックスが表示され、選択したキャビネットの名前が表示されます。



ヒント

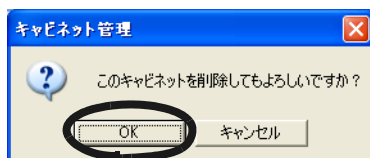
ツリーのキャビネット上でマウスを右クリックし、[削除] を選択しても削除できます。この場合、すぐに手順4. のメッセージが表示されます。

3. [削除] ボタンをクリックします。



メッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。



キャビネットが書庫から削除されます。

6.8 キャビネットの表示順を変更する

フォルダビューに表示されているキャビネットの順番を変更します。

操作

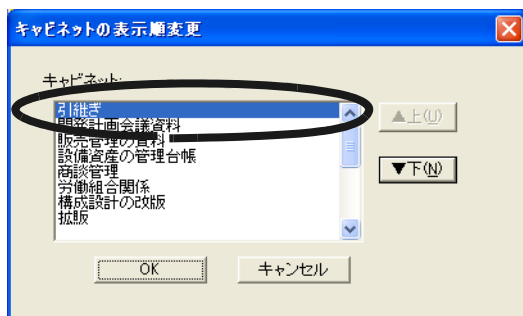


1. ツリーのキャビネット上で右クリックし、[表示順の変更] を選択します。

[キャビネットの表示順変更] ダイアログボックスが表示されます。



2. 「キャビネット」で、順番を変更したい書庫を選択します。



3. [上] ボタンと[下] ボタンで順番を変更します。

4.[OK] ボタンをクリックします。

キャビネットの表示順が変更されます。

6.9 キャビネットの表示形式を切り替える

キャビネットの表示形式を「1 段表示」または「3 段表示」に切り替えます。

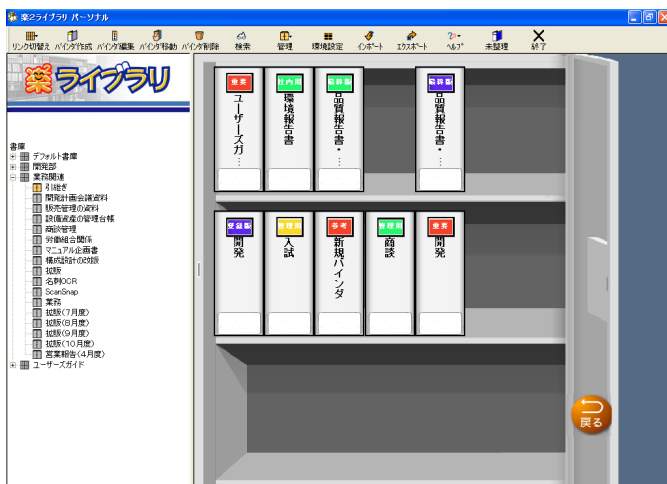


1. キャビネット内のバインダ以外の部分で、マウスを右クリックし、[1 段表示] または [3 段表示] を選択します。

- 1 段表示



- 3 段表示





3段表示の場合は、画面上に[戻る]ボタンが表示されます。この[戻る]ボタンをクリックして[1段表示]に切り替えることもできます。

6.10 バインダを作成する

キャビネットの中に、バインダを作成します。

バインダは、1つのキャビネットに対して、最大21個まで作成できます。

操作



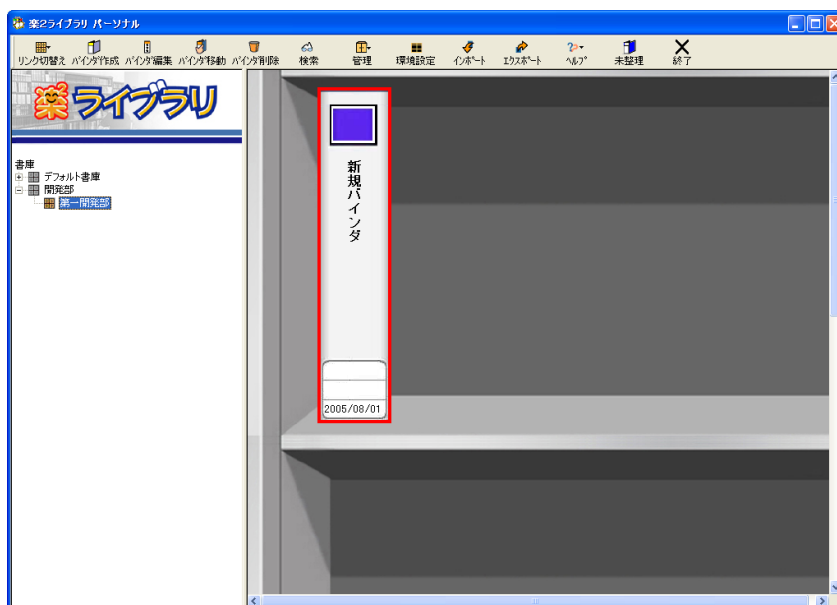
1. バインダを作成するキャビネットをツリーから選択します。

選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. キャビネットの2段目または3段目に、バインダを作成する場合、スクロールバーでキャビネットの段を移動します。

3. バインダ管理画面の をクリックします。

キャビネットに、バインダが作成されます。





新規作成したバインダは、「新規バインダ」という名前になっています。

4. バインダの名前や、開き方を設定します。

詳細は、「バインダを編集する」(77 ページ) を参照してください。

バインダの作成後、すぐにバインダを編集する場合は、手順「2.」以降を参照してください。

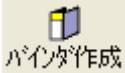
6.11 名刺バイндаを作成する


名刺を専用に管理するためのバイндаを作成します。

名刺は、1 ページで 8 枚まで管理できます。

操作



1.  をクリックして、新規にバイндаを作成します。

2.  をクリックします。または、バイндаの背表紙上でマウスを右クリックし、[編集] を選択します。

[バイндаの編集] ダイアログボックスが表示されます。

3. バイндаの種類に「名刺バイнда」を選択し、その他の各項目を設定します。

4. [OK] ボタンをクリックします。

名刺バイндаが作成されます。

まって!



- ・ 名刺バイндаでは、以下の機能は使用できません。
 - 未読一覧の設定
 - ファイル取り込み時のインデックスの自動挿入
 - 元のファイル（電子データ）の取り込み
 - 他のアプリケーションからのデータの取り込み
 - 連携ソフトウェアからのデータの取り込み
- ・ 名刺バイндаのエクスポートは、「ビューア付きデータファイル (*.exe)」でのみ可能です。



名刺バインダは、背表紙上部に「CARD」と表示されます。

6.12 未整理バインダを作成する

楽²ライブラリでは、ScanSnap を使用して読み取ったデータを、一時的に保存しておくための「未整理バインダ」を作成することができます。未整理バインダを作成すると、以下のようになります。

- ・ ビューア画面が表示されていない場合、ScanSnap で読み取ったデータは未整理バインダに追加されます。
- ・ 楽²ライブラリを起動しなくても、読み取りが行えます。読み取ったデータは、未整理バインダに追加されます。



- ・ 読み取り時にビューア画面が最前面に表示されている場合、読み取ったデータは、ビューア画面に表示されているバインダに追加されます。
- ・ 未整理バインダは、楽²ライブラリに 1 個だけ作成できます。すでに、キャビネットに未整理バインダが作成されている場合、別のキャビネットに未整理バインダを作成することはできません。



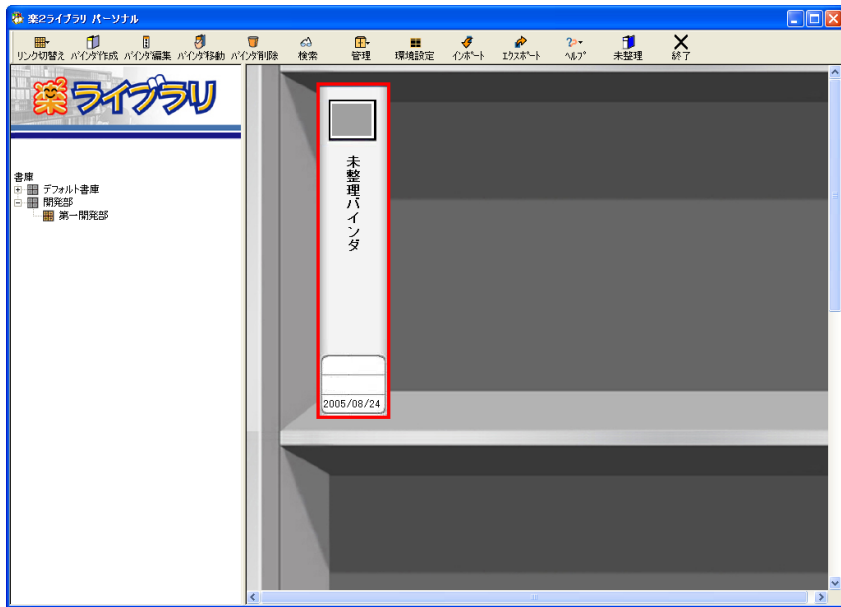
1. 未整理バインダを作成するキャビネットをツリーから選択します。

選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. キャビネットの 2 段目または 3 段目に、未整理バインダを作成する場合、スクロールバーでキャビネットの段を移動します。

3. バインダ管理画面の をクリックします。

キャビネットに、未整理バインダが作成されます。



- ・ 未整理バインダの名前や日付は、変更できません。
- ・ 未整理バインダでは、以下の機能は使用できません。
 - バインダの編集
 - バインダのエクスポート（出力）
 - ファイル取り込み
 - 付箋紙の追加
 - マーカの追加
 - ハイパーリンクの追加
 - インデックスシートの追加
 - 目次情報の設定
 - ページの検索（文字列の抽出・編集・削除を含む）
 - 電子データ付き状態での貼り付け（ドラッグ＆ドロップを含む）

6.13 バインダを編集する

作成したバインダに対して、名前（タイトル）や日付を設定します。



- ・ 未整理バインダは編集できません。
- ・ 画素数の小さいデータの場合、編集情報（付箋紙、マーカ、ハイパーリンク）の位置がずれることがあります。



1. 名前や日付を編集したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. 編集するバインダを選択します。

3. バインダ管理画面の  をクリックします。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[編集]を選択します。

[バインダの編集] ダイアログボックスが表示されます。

4. 各項目を設定します。

バインダの種類: 通常バインダ 名刺バインダ

タイトル: (1列目) 新規バインダ ※画面上では、各列12文字
(2列目) まで表示されます。

管理情報

上段:

中段:

下段(日付): 2005/08/01

ラベル色: 藍

ラベル文字:

バインダサイズ: 500ページ 1000ページ

開き方向: 左から開く 右から開く

目次: あり なし

未読一覧: あり なし

ページ内の余白: あり なし

対象表示範囲: 100 % (70~100)

キーワード:

データ管理形式を分割モードにする

OK
キャンセル
ヘルプ(H)
データ復旧



- ・ 各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『バインダ管理画面のヘルプ』を参照してください。
- ・ 以下の項目は、バインダの検索時に、検索条件として指定することができます。
 - タイトル
 - 管理情報
 - キーワード

5. [OK] ボタンをクリックします。

指定した内容に従って、バインダの設定が変更されます。

6.14 バインダを削除する

不要になったバインダを、キャビネットから削除します。複数同時に行うこともできます。

まって!



バインダを削除すると、バインダ内のページも削除されます。

操作

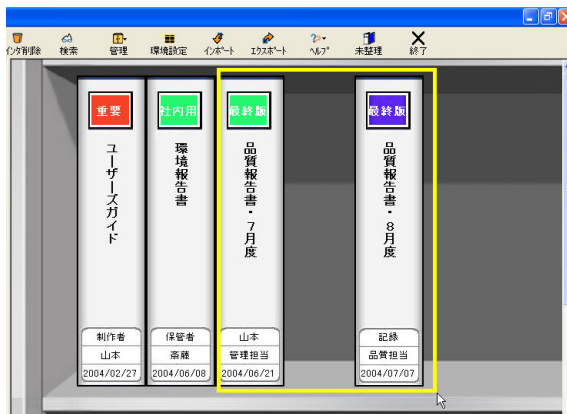


1. 削除したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

ヒント



複数バインダの選択は、バインダビューで、選択したいバインダを囲むようにドラッグするか、[Ctrl] キーまたは [Shift] キー + マウスクリックによって行うことができます。



選択したキャビネットの内容が表示されます。

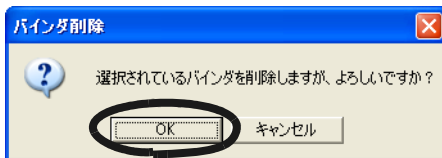
2. 削除するバインダを選択します。

3. バインダ管理画面の  をクリックします。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[削除] を選択します。

メッセージが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。



キャビネットからバインダが削除されます。

6.15 バインダを移動する

バインダを、別のキャビネットに移動します。複数同時に行うこともできます。

ドラッグ & ドロップによるバインダの移動

操作

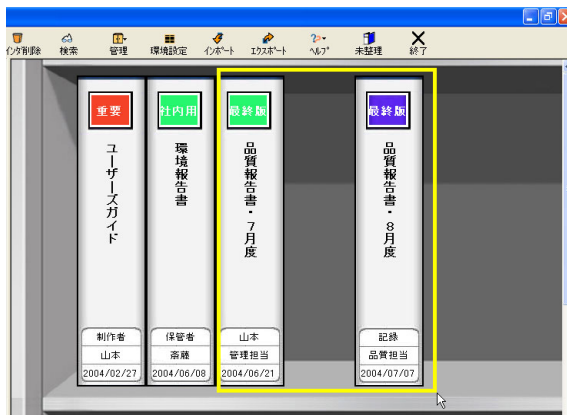


1. 移動するバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

ヒント



複数バインダの選択は、バインダビューで、選択したいバインダを囲むようにドラッグするか、[Ctrl] キーまたは [Shift] キー + マウスクリックによって行うことができます。



選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. 移動するバインダをドラッグして、移動先のキャビネット上（ツリー上）にドロップします。

指定したキャビネットに、バインダが移動します。

[バインダの移動] ダイアログボックスによるバインダの移動



1. 移動するバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

選択したキャビネットの内容が表示されます。

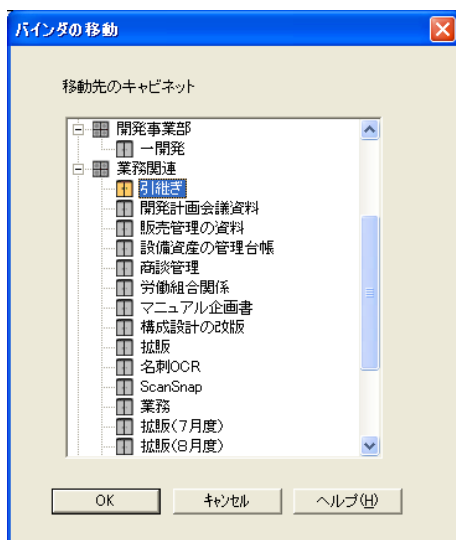
2. 移動するバインダを選択します。

3. バインダ管理画面の  をクリックします。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[移動]を選択します。

[バインダの移動] ダイアログボックスが表示されます。

4. 「移動先のキャビネット」から、バインダの移動先（キャビネット）を選択します。



5.[OK] ボタンをクリックします。

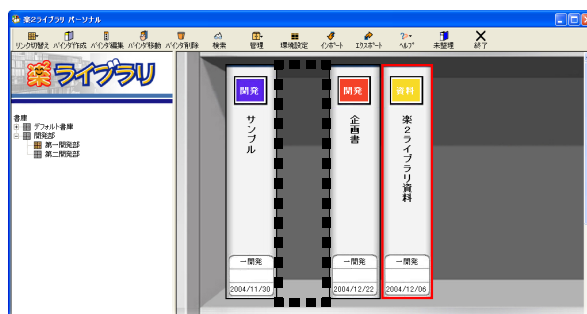
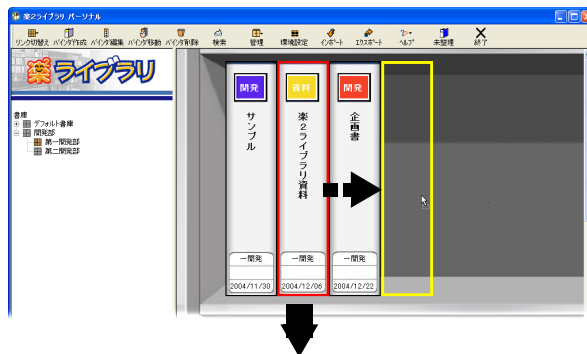
指定したキャビネットに、バインダが移動されます。



選択数が多すぎて移動先に入らない場合、「移動先キャビネット内のバインダ数が最大数を超えるため、移動することはできません。再度実行してください。」というメッセージが表示されます。



キャビネット内でバインダの並び順を変更する場合、移動したい場所まで、バインダをドラッグ&ドロップします。



6.16 バインダをアクセス日時の新しい順に並べ替える

キャビネット内のバインダを、アクセス日時の新しい順に自動で並べ替えられるようにすることができます。



1. アクセス日時の新しい順に並べ替えて管理したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. ツリーのキャビネット名の上でマウスを右クリックし、[バインダの整列] - [アクセス日時順] を選択します。

キャビネット内のバインダがアクセス日時の新しい順に、最上段の左側から並べ替えられます。



- アクセス日時は、バインダを開いたときに更新されます。なお、一度も開いていないバインダは、バインダの作成日時がアクセス日時として判断されます。
- [バインダの整列] で [アクセス日時順] が選択されていると、以下の場合に、バインダがアクセス日時の新しい順に自動で並べ替えられます。
 - キャビネットを開いたとき
 - バインダを開いたとき
- バインダがアクセス日時の新しい順に並べ替えられるモードを中止したい場合は、ツリーのキャビネット上でマウスを右クリックし、[バインダの整列] - [フリー] を選択してください。

6.17 バインダ内の全ページのテキストを抽出する

選択したバインダ内の全ページを対象にテキスト抽出を行います。



すでにテキスト抽出済みのページについては、テキスト情報が更新（上書き）されます。



操作



1. テキスト抽出したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. テキスト抽出したいバインダを選択します。

3. バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[テキスト抽出]を選択します。

[バインダテキスト情報抽出中] ダイアログボックスが表示され、テキストが抽出されます。

6.18 バインダに関する情報を確認する

バインダに関する以下の情報を確認します。

- ・ バインダの格納場所
- ・ バインダ内にある原稿の枚数 / 総枚数
- ・ ファイルサイズ
- ・ アクセス日時



1. 情報を確認したいバインダが管理されているキャビネットをツリーから選択します。

選択したキャビネットの内容が表示されます。

2. 情報を確認したいバインダを選択します。

3. バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

[プロパティ]ダイアログボックスが表示され、バインダの情報を確認できます。





各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『バインダ管理画面のヘルプ』を参照してください。

6.19 バインダを出力する（エクスポート）

バインダをエクスポートすると、楽²ライブラリがインストールされていないコンピュータでも、バインダに格納したデータを見ることができます。エクスポートして出力されたバインダは、Adobe® Acrobat®、Acrobat® Reader®、Adobe® Reader®、または閲覧用のビューア画面で表示できます。



- ・ 未整理バインダはエクスポート（出力）できません。
- ・ 名刺バインダは「ビューア付きデータファイル (*.exe)」でのエクスポートのみ可能です。



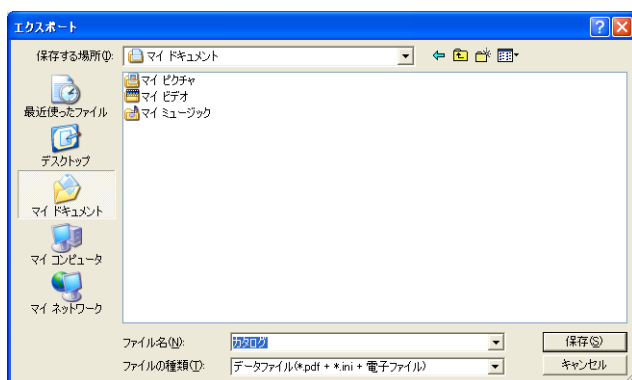
1. エクスポート（出力）したいバインダを選択します。

2. バインダ管理画面の  をクリックします。

または、バインダの背表紙上でマウスを右クリックし、**[エクスポート]**を選択します。

[エクスポート]ダイアログボックスが表示されます。

3. 出力するファイルを保存する場所やファイル名を指定して、 [保存] ボタンをクリックします。



指定した形式でバイндаが出力されます。



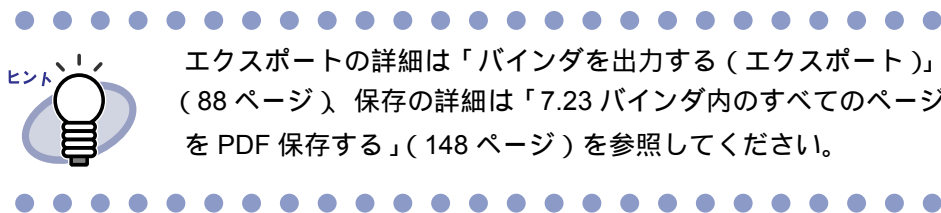
ヒント

- ・ 「ファイルの種類」に「ビューア付きデータファイル (*.exe)」を選択した場合、ビューア付きのファイルが出力されます。このファイルは、楽²ライブラリがインストールされていないコンピュータ上でも閲覧することができます。
ビューア付きのファイル (*.exe) をダブルクリックすると、閲覧用のビューア画面が表示されます。
- ・ 「ファイルの種類」に「データファイル (*.PDF+*.ini+ 電子ファイル)」を選択した場合、出力されたファイルは Adobe[®] Acrobat[®]、Acrobat[®] Reader[®]、または Adobe[®] Reader[®] で表示することができます。
ただし、この場合、以下の情報は表示されません。
 - 目次ページ
 - インデックスシート
 - 付箋紙
 - マーカ

6.20 バインダを取り込む（インポート）

PDF ファイルを取り込んでバインダ形式にし、楽²ライブラリで管理することができます。

取り込めるファイルは、バインダ管理画面のエクスポート機能で出力された PDF ファイル、またはビューア画面の保存機能で保存された PDF ファイルです。



操作



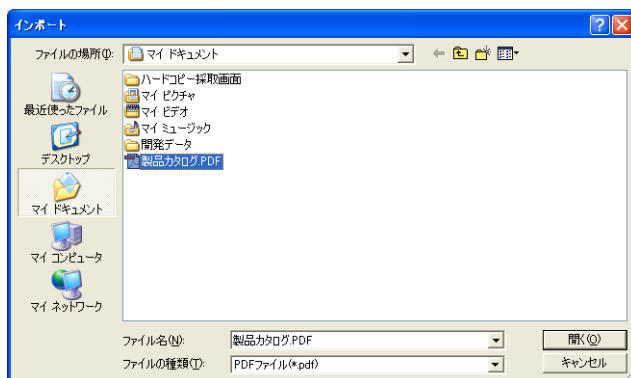
1. PDF ファイルの読み込み先にするキャビネットを表示します。

2. バインダ管理画面の  をクリックします。

[開く]ダイアログボックスが表示されます（ダイアログボックスの名前は、オペレーティングシステムによって異なります）。

3. 読み込む PDF ファイルを選択します。

4. [開く] ボタンをクリックします (ボタン名はオペレーティングシステムによって異なります)



PDF ファイルがバインダ形式になり、キャビネットに追加されます。

6.21 バインダを検索する

目的のバインダを検索します。

操作



1. バインダ管理画面の をクリックします。

[検索条件の指定] ダイアログボックスが表示されます。

2. バインダを検索する条件を指定します。

複数の条件を指定した場合、指定したすべての条件に一致するバインダが検索されます。

ここでは、バインダのタイトルに「報告書」の文字が含まれるバインダを、すべての書庫から検索します。

The dialog box titled "検索条件の指定" (Specify Search Conditions) contains the following elements:

- 検索する文字列: 報告書 (Search text: Report)
- 検索モード: を含む (Search mode: Contains)
- 日付指定 (Date specification):
 - 指定しない (Not specified)
 - 過去 1 年 以内検索 (Past 1 year search)
 - 2005/08/16 日 ~ 2005/08/23 日 を検索 (Search from 2005/08/16 to 2005/08/23)
- 探す場所 (Search location):
 - 現在のキャビネット (Current cabinet)
 - 現在の書庫 (Current library)
 - すべての書庫 (All libraries)
- Buttons: OK, キャンセル (Cancel), 詳細(D)>> (Details), ヘルプ(H) (Help)

第6章 バインダ管理画面での操作

[詳細] ボタンをクリックすると、より詳細な検索条件を設定するダイアログボックスが表示されます。

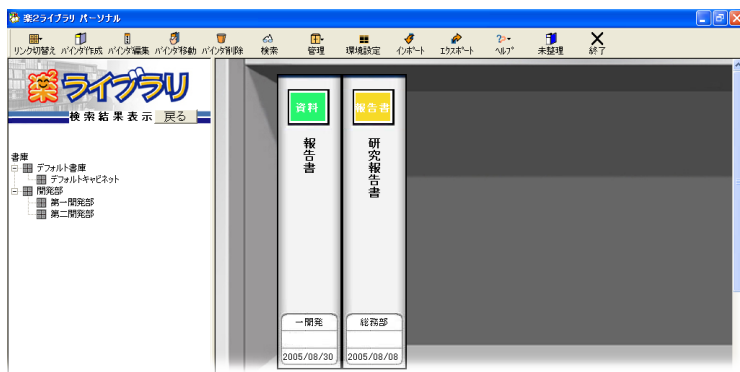


ヒント

各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『バインダ管理画面のヘルプ』を参照してください。

3. [OK] ボタンをクリックします。

指定した条件に一致したバインダが、キャビネットに表示されます。




検索結果表示されているバインダの中から絞り込み検索を行う場合は、手順「1.」～「3.」を繰り返してください。

6.22 ページを検索する

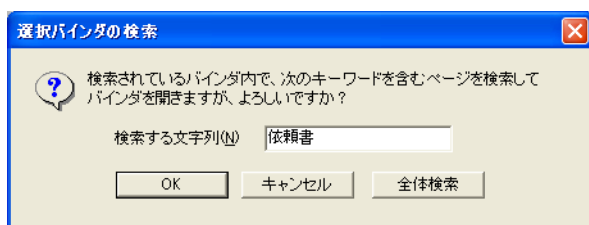
バインダ内の目的のページを検索します。



1. 検索したいバインダを選択し、バインダ管理画面の  をクリックします。

[選択バインダの検索] ダイアログボックスが表示されます。

2. 検索する文字列を指定します。



[全体検索] ボタンをクリックするとバインダの検索に移ります。「6.21 バインダを検索する」(93 ページ) を参照してください。

3. [OK] ボタンをクリックします。

ビューア画面が開き、指定した文字列を含むページが表示されます。

6.23 環境を設定する

以下の設定ができます。

- ・ **書庫・キャビネット・バインダのデータの格納先（リンクフォルダ）の変更**

書庫・キャビネット・バインダのデータの格納先を変更します。
初期状態では、インストール時に指定されたフォルダに、それぞれのデータが保存されています。

- ・ **ScanSnap で読み取ったデータを未整理バインダに自動追加するとき、確認メッセージを表示させるかどうか**

ScanSnap での読み取り時に、読み取ったデータを未整理バインダに追加するかどうかのメッセージを、表示させるかどうかを設定します。



1. バインダ管理画面の をクリックします。

[環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. 各項目を設定します。

- ・ 書庫・キャビネット・バインダのデータの格納先を変更する場合、**[参照]** ボタンをクリックして、データの格納先にするフォルダ（リンクフォルダ）を指定します。



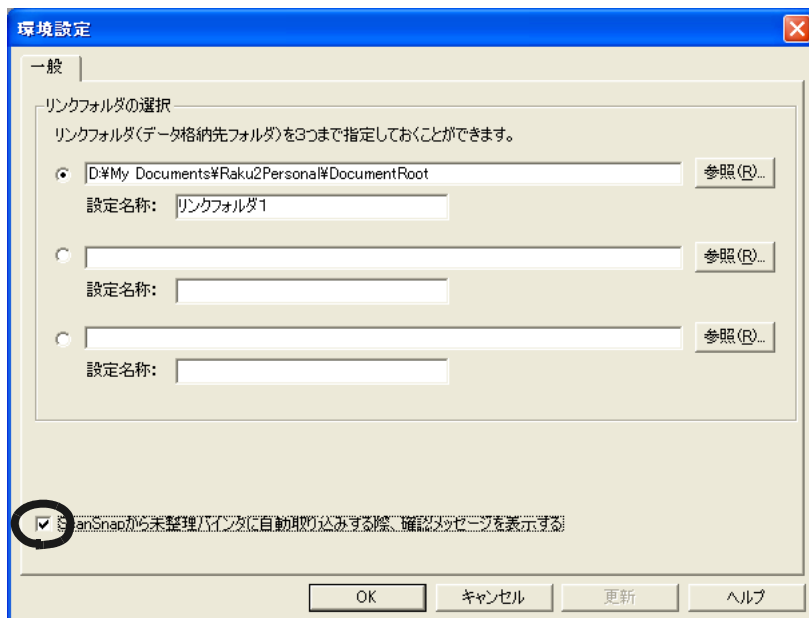
- ・ リンクフォルダは3つまで指定しておくことができます。
- ・ 「設定名称」に入力した文字列は、ツールバーの[リンク切替え] ボタンをクリックすると表示されます。





リンクフォルダにネットワークドライブを指定する場合は、Windows サーバに限定されます。

- ・ 未整理バインダにデータを追加するかどうかのメッセージを表示させる場合、「ScanSnap から未整理バインダに自動取込みする際、確認メッセージを表示する」をチェックします。



3.[OK] ボタンをクリックします。

6.24 データを退避する

リンクフォルダ内のすべてのデータを退避します。

操作



1. バインダ管理画面の  をクリックします。

[環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [一般] タブで、退避したいリンクフォルダ（データ格納先フォルダ）の情報を確認します。

3. エクスプローラを起動して、手順「2.」で確認したフォルダを選択し、ツールバーの [編集] - 「コピー」を選択します。

フォルダがコピーされます。

4. 次に、退避先のフォルダを開き、ツールバーの [編集] - 「貼り付け」を選択します。

フォルダが貼り付けされ、データが退避されます。

第7章



ビューア画面での操作

この章では、ビューア画面でできる操作について説明します。

<この章で使用しているマークについて>

見開きモードでの操作 : 見開きモードでページを表示している場合に、利用できる機能であることを示しています。

1ページモードでの操作 : 1ページモードでページを表示している場合に、利用できる機能であることを示しています。

7.1 TWAIN 対応のスキヤナからページを読み取る


見開きモードでの操作

TWAIN 対応のスキヤナを使用して原稿を読み取って、バインダに追加します。



TWAIN 対応のスキヤナと ScanSnap の両方とも接続されている場合に、TWAIN 対応のスキヤナで読み取りを行うときは、ScanSnap の USB ケーブルを抜いておいてください。



1. スキヤナに原稿をセットします。
2. 読み込み先のバインダのページを表示します。
3. ビューア画面の  をクリックします。

読み取りが実行され、原稿がバインダに追加されます。



- ・ 読み取り時に、スキャナドライバ画面（TWAIN ドライバの画面）を表示することもできます。
スキャナの種類によっては、必ずスキャナドライバ画面が表示されます。
- ・ 読み取ったページが奇数の場合、最後のページの裏面として、白紙ページが追加されます。
- ・ スキャナ読み取り時の動作を設定できます。詳細は、「7.49 動作環境を設定する」（186 ページ）または [ヘルプ](#) をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。
- ・ 続けて次の読み取りを行う場合、原稿をセットしてから「次の読み取りを行いますか？」のメッセージで [はい] ボタンをクリックします。直前に読み込んだ原稿の末尾にページが追加されます。
- ・ 両面読み取り用の ADF（自動給紙装置）スキャナをご使用の場合、両面を読み取りたいときは、スキャナドライバ画面（TWAIN ドライバ画面）で設定を変更してください。
- ・ 名刺バインダの場合、読み込んだデータは追加対象ページ内の左列の空いているところに上から順に追加されます。左列が 4 枚の名刺データで埋まったときは、新しい名刺シート（両面）が後ろに追加され、続きが取り込まれます。
- ・ 名刺をフラットベッドスキャナで読み取る場合は、[動作環境の設定] ダイアログボックスの「名刺バインダ」タブで読み取り方法を設定することができます。
- ・ 名刺を ADF で読み取る場合は、TWAIN ドライバの読み取りサイズが自動で「名刺サイズ」に切り替わります。
- ・ 縦長の名刺データが取り込まれた場合、左に 90 度回転した状態で表示されます。
- ・ 名刺サイズを超える場合は、自動的にフリー切り出し処理が行われ、名刺データが抽出されます。

7.2 ScanSnap からページを読み取る

見開きモードでの操作

ScanSnap (S500、fi-5110EOX、fi-5110EOX2、fi-5110EOX3、fi-4110EOX2、fi-4110EOX3) を使用して原稿を読み取って、バインダに追加します。



ScanSnap からページを読み取る場合、楽²ライブラリと ScanSnap を連携する必要があります。楽²ライブラリと ScanSnap を連携する方法は、「第4章 ScanSnap と連携する」(41 ページ) を参照してください。



操作

1. ScanSnap に原稿をセットします。
2. 読み込み先にするバインダのページを表示します。

3. ビューア画面が最前面に表示された状態で、ScanSnap の読み取りボタンを押します。



各機種の読み取りボタンは以下のとおりです。

- S500
[スキャン] ボタンおよび [e- スキャン] ボタン
- fi-5110EOX / fi-5110EOX2
[SCAN] ボタン
- fi-5110EOX3
[スキャン] ボタンおよび [e- スキャン] ボタン
- fi-4110EOX2 / fi-4110EOX3
[Duplex] ボタンおよび [Simplex] ボタン

読み取りが実行され、原稿がバインダに追加されます。



- 未整理バインダを作成した場合で、読み取ったデータを未整理バインダに追加するときは、読み込み先にするバインダを表示しておく必要はありません。
- 未整理バインダを作成した場合で、読み取り時にビューア画面が最前面に表示されていたときは、読み取ったデータは、ビューア画面に表示されていたバインダに追加されます。未整理バインダには追加されません。
- ScanSnap から未整理バインダへ自動取り込みした場合、インデックスシートは追加されません。また、未整理バインダではインデックスシートを追加できません。
- 読み取ったページが奇数の場合、最後のページの裏面として、白紙ページが追加されます。
- 名刺バインダの場合、読み込んだデータは追加対象ページ内の左列の空いているところに上から順に追加されます。左列が 4 枚の名刺データで埋まったときは、新しい名刺シート（両面）が後ろに追加され、続きが取り込まれます。

7.3 ファイル（電子データ）を取り込む

見開きモードでの操作


コンピュータ上のフォルダからファイルを取り込んで、バインダに追加します。



未整理バインダで、ファイルを取り込むことはできません。



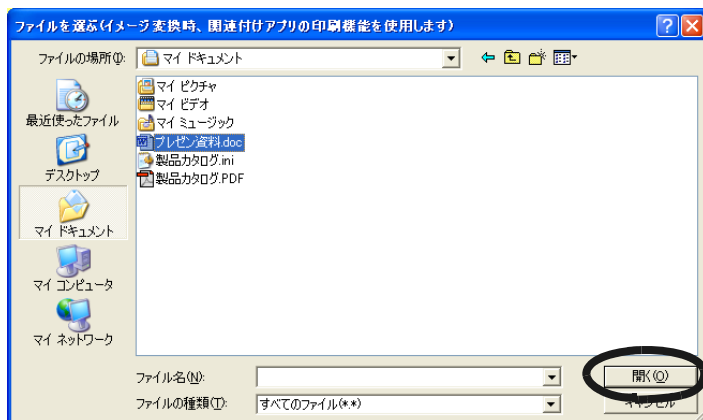
1.取り込み先のバインダのページを表示しておいてから、

ビューア画面の  をクリックします。

[ファイルを選ぶ] ダイアログボックスが表示されます。

2.取り込みたいファイルを指定して、[開く] ボタンをクリックします。

ファイルは、キーボードの Shift キーや Ctrl キーを押しながら複数指定できます。



取り込んだファイルがバインダに追加されます。



- ・ 複数ページのファイルや、高解像度のカラーの画像ファイルを取り込んだ場合、取り込みに時間がかかることがあります。
- ・ 画像形式のファイルを取り込む場合は、元のファイル（電子データ）を一緒に取り込むことはできません。

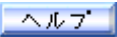


- ・ 取り込み先のバインダのページを表示しておき、取り込みたいファイル（複数可能）をページ上にドラッグ&ドロップすることによってもファイル取り込みができます。
- ・ 元のファイル（電子データ）も一緒に取り込んで、楽²ライブラリで管理する場合、[環境設定] ボタンをクリックして、[動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの「元ファイル（変換前の電子ファイル）も取り込む」をチェックします。
- ・ サポートしている画像形式は、以下のとおりです。

BMP	: Windows [®] および OS/2 ビットマップ
PCX	: Zsoft 形式（シングルページ）
JPG, JPEG	: JPEG 形式
TIF, TIFF	: TIFF 形式（マルチページを含む。 ただし、LZW 圧縮は除く）
WMF	: Windows メタファイル
PSD	: Photoshop 3.0 形式
PNG	: Portable Network Graphics 形式
TGA	: Truevision TARGA 形式
PCD	: Photo CD 形式
FPX	: FlashPix 形式
PDF	: PDF 形式（楽 ² ライブラリで出力された PDF、または ScanSnap で読み取った PDF）

上記の他に、印刷機能を持つアプリケーションに関連付けられているファイルもサポートしています。



- サポートしている画像形式以外のファイル（Microsoft® Word や Microsoft® Excel など）をイメージ変換（*）して、取り込むときの色数と解像度を設定できます。詳細は、「7.49 動作環境を設定する」（186 ページ）または  をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。
（*）イメージ変換では、ファイルに関連付けされているアプリケーションの印刷機能が使用されます。このため、アプリケーションによっては、印刷の画面が表示されたり、イメージ変換終了後に画面が表示されたままになることがあります。また、印刷確認のメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。
- 関連付けアプリケーションの印刷機能によるイメージ変換が行われる場合、ファイルによっては、「(ファイル名)は変更されています。保存しますか？」のメッセージが表示されます。この場合、[いいえ] ボタンをクリックしてください。
- インデックスシートの自動挿入が設定されている場合、ファイル名が長いと、インデックスシートのタグにファイル名が表示されきらないことがあります。
- 取り込んだページが奇数の場合、最後のページの裏面として、白紙ページが追加されます。
- ファイル取り込み中にエラーが発生してプログラムが終了した場合、通常使うプリンタが「Raku2 ImageWriter」のままになっていることがあります。この場合、コントロールパネルの[プリンタとFAX]（または[プリンタ]）を開き、元のプリンタ名の上で右クリックして、「通常使うプリンタに設定」を選択してください。
- 名刺バインダの場合、取り込んだデータは追加対象ページ内の左列の空いているところに上から順に追加されます。左列が4枚の名刺データで埋まったときは、新しい名刺シート（両面）が後ろに追加され、続きが取り込まれます。



7.4 1 ページずつページをめくる

見開きモードでの操作

1 ページモードでの操作

操作



1. ビューア画面の左端または右端にマウスポインタを移動します。ページを 90 度回転している場合は、ビューア画面の上端または下端にマウスポインタを移動します。
2. マウスポインタが  または  になったときにクリックします。




- キーボードの **←** キー、または **→** キー（90 度回転している場合は、**↑** キーまたは **↓** キー）を押しても、ページをめくることができます。
- ページをめくる速さを設定できます。詳細は、「7.49 動作環境を設定する」（186 ページ）を参照してください。

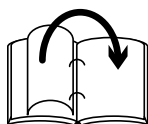



7.5 連続して自動でページをめくる

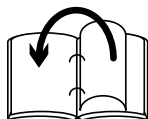
見開きモードでの操作




1. 左のページを連続してめくる場合、をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [連続めくり]
- [前ページへ]を選択します。



- 右のページを連続してめくる場合、をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [連続めくり]
- [次ページへ]を選択します。



- ・ 連続めくりを停止する場合、をクリックするか、またはページ上でクリックします。
- ・ 末尾のページまでめくり終わると、再度、先頭からページめくりが開始されます。
- ・ ページをめくる速さや間隔を設定できます。詳細は、「7.49 動作環境を設定する」(186 ページ)を参照してください。

7.6 ページを回転する

見開きモードでの操作

1 ページモードでの操作

ページを回転します。

内容が横向きの場合に、ページを回転させると見やすくなります。



1. 右に 90 度回転させる場合、 をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [右 90 度回転] を選択します。

左に 90 度回転させる場合、 をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [左 90 度回転] を選択します。



ヒント

ページを回転すると、 が表示されます。

このボタンをクリックするか、またはページ上でマウスを右クリックし [戻る] を選択すると、元の表示に戻ります。



- ページを回転すると目次は表示されません。
- ページを回転した状態で、ページやインデックスを指定してめくることはできません。
- ページを回転した状態で、以下の機能は使用できません。
 - スキャナ読み取り
 - ファイル取り込み
 - 上下反転
 - 左右ページの入れ替え
 - ハイパーリンクの設定およびジャンプ
 - テキスト検索

7.7 ページを上下反転する

見開きモードでの操作

ページを上下反転します。

操作



1. ページ上でマウスを右クリックし、[ページの操作] - [上下反転] を選択します。



上下反転した場合、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、上下反転された状態でページが表示されます。



7.8 ページを左右入れ替える

見開きモードでの操作

左右のページを入れ替えます。

操作



1. ページ上でマウスを右クリックし、[ページの操作] - [左右ページ入れ替え] を選択します。

ヒント



左右のページを入れ替えた場合、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、左右入れ替えた状態でページが表示されます。

7.9 ページの傾き補正をする

見開きモードでの操作

選択ページのデータ内容の傾きを判定して補正します。
選択ページが画像データの場合だけ有効です。



何度も繰り返して傾きを補正すると、画像のサイズや色が変わる場合があります。



操作



1. ページ上でマウスを右クリックし、[ページの操作] - [傾き補正] を選択します。

7.10 ページの表示方法を変更する

ページの表示方法を変更できます。

ページの表示方法には、「見開きモード」と「1ページモード」があります。

- ・ 見開きモード

見開きの状態で、ページが表示されます。




- ・ 1ページモード

1ページ単位で、ページが表示されます。






1.1 ページモードにする場合、ビューア画面の をクリック

します。または、マウスポインタが  になったときにページをダブルクリックします。

ページ上でマウスを右クリックし、[表示] - [1 ページ表示] を選択することによっても 1 ページモードにできます。

見開きモードにする場合、ビューア画面の  をクリックします。

または、マウスポインタが  になったときにページをダブルクリックします。

ページ上でマウスを右クリックし、[印刷/メール/保存] - [見開き印刷] を選択することによっても見開きモードにできます。

ヒント



1 ページモードの場合、ビューア画面には、ページの上部または下部だけが表示されます。

ビューア画面に表示されていない部分を表示させる方法は「7.11 ページの表示範囲を変更する」(121 ページ) を参照してください。





7.11 ページの表示範囲を変更する

1 ページモードでの操作

ページの表示範囲を変更します。



1. 次のように操作します。

- ・ ページの上部を表示する場合、ビューア画面の  をクリックします。または、キーボードの **↑** キーを押します。
- ・ ページの下部を表示する場合、ビューア画面の  をクリックします。または、キーボードの **↓** キーを押します。
- ・ 左側のページを表示する場合、ビューア画面の  をクリックします。または、キーボードの **←** キーを押します。
- ・ 右側のページを表示する場合、ビューア画面の  をクリックします。または、キーボードの **→** キーを押します。



表示範囲の上下方向への変更は、ページ上で、マウスをドラッグしても行えます。

7.12 指定した範囲を拡大して表示する

見開きモードでの操作

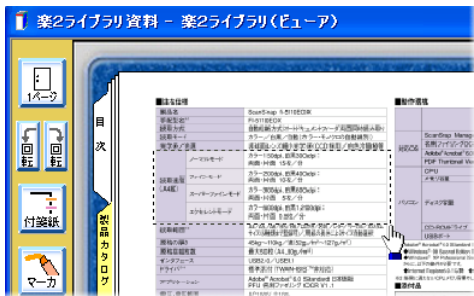
ページ上で指定した範囲を、拡大して表示します。



画素数が小さいデータは拡大されない場合があります。



1. ページ上でマウスをドラッグし、拡大表示する範囲を決めます。



2. 拡大表示する範囲が決まったら、マウスの左ボタンを離します。

マウスでドラッグした範囲が、拡大表示されます。



ヒント



- ・ 拡大表示をやめるときは、次のどちらかの操作をします。
 - ページ上で右クリックまたはダブルクリックする。
 - 隣のページ上でクリックする。

また、他のページをめくっても、拡大表示から元の表示に戻ります。

- ・ 拡大表示しているときにページ上でドラッグして、ページの表示範囲を変更できます。

7.13 ページに付箋紙を付ける

見開きモードでの操作

重要なページや何度も参照するページに、付箋紙を付けることができます。




未整理バイндаのページに付箋紙を付けることはできません。



1.付箋紙を追加するページを表示します。

2.ビューア画面の  をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[編集情報の追加]
- [付箋紙の追加] を選択します。

付箋紙の作成状態になり、マウスポインタの形が  になります。

3.付箋紙を付けたい位置でクリックします。

付箋紙が付けられ、文字の入力状態になります。



4. 付箋紙に文字を入力します。



5. バインダの中央付近でクリックします。

付箋紙の文字が確定します。



- 付箋紙の文字は、全角 50 文字（半角 100 文字）以内で指定できます。
- 付箋紙に入力した文字列は、バインダ検索時に、検索条件として指定することができます。
- 付箋紙とマーカとハイパーリンクは、1 ページあたり合わせて最大 10 個まで付けることができます。
- 付箋紙の一部をページからはみ出して付けた場合、他のページを表示しているときに、付箋紙のはみ出した部分をクリックすると、そのページに移動できます。
- バインダ編集時に、バインダの「開き方向」を逆の方向に変更した場合、ページからはみ出して付けた付箋紙がバインダの中央に表示されます。この場合、付箋紙の位置を移動してください。
- 付箋紙をドラッグすると、付箋紙の位置を移動できます。
- 付箋紙の四隅 (■) をドラッグすると、付箋紙のサイズを変更できます。
- 付箋紙を編集または削除できます。詳細は、[ヘルプ](#) をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.14 ページにマーカを引く

見開きモードでの操作

ページ内の重要な箇所にマーカを引くことができます。



- ページをまたがってマーカを引くことはできません。
- ページをはみ出してマーカを引くことはできません。
- 未整理バインダのページにマーカを引くことはできません。


操作



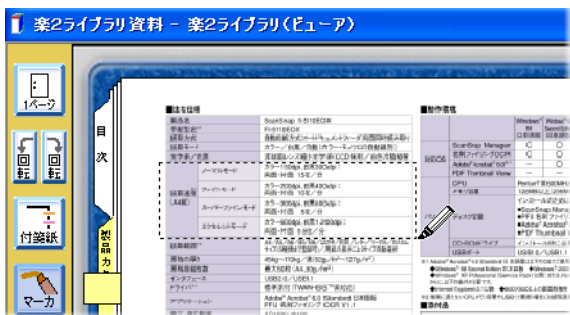
1. マーカを引くページを表示します。

2. ビューア画面の  をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[編集情報の追加] - [マーカの追加] を選択します。

マーカの作成状態になり、マウスポインタの形が  になります。

3. ページ上でドラッグして、マーカの範囲を決めます。



7.15 ページにハイパーリンクを設定する

見開きモードでの操作

ページ上で選択した箇所にハイパーリンクを設定することができます。



- ページをまたがってハイパーリンクを設定することはできません。
- ページをはみ出してハイパーリンクを設定することはできません。
- 未整理バインダのページにハイパーリンクを設定することはできません。
- ハイパーリンクの「表示文字列」のフォントサイズを大きくした場合、設定した枠のサイズによっては文字が表示されなくなる場合があります。



1. ハイパーリンクを設定するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[編集情報の追加] - [ハイパーリンクの追加]を選択します。

ハイパーリンクの作成状態になり、マウスポインタの形が⁺ [] になります。

3. ページ上でドラッグして、ハイパーリンクを設定する範囲を決めます。

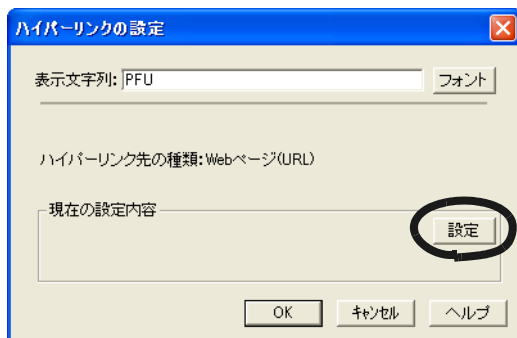


4. ハイパーリンクを設定する範囲が決まったら、マウスの左ボタンを離します。

[ハイパーリンクの設定] ダイアログボックスが表示されます。

5. [設定] ボタンをクリックします。

[URL の設定] ダイアログボックスが表示されます。

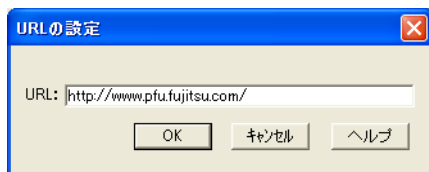


ヒント



各項目の詳細は、[ハイパーリンクの設定] ダイアログボックスの [ヘルプ] ボタンをクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

6.URLを設定します。



7.[OK] ボタンをクリックします。

ハイパーリンクが設定されます。



- ハイパーリンクの「表示文字列」に入力した文字列は、バインダ検索時に、検索条件として指定することができます。
- ハイパーリンクとマーカと付箋紙は、1ページあたり合わせて最大10個まで付けることができます。
- ハイパーリンクを右クリックすると表示される枠の四隅(■)をドラッグすると、ハイパーリンクの設定範囲を変更できます。
- ハイパーリンクの設定を編集または削除できます。詳細は、[ヘルプ](#)をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.16 目次情報を設定する

見開きモードでの操作

バインダ内の先頭に目次ページが作成されている場合、目次情報を設定できます。目次ページは、バインダの編集時に作成できます。バインダの編集方法は、「6.13 バインダを編集する」(77 ページ)を参照してください。

まって!



未整理バインダでは、目次情報は設定できません。

操作



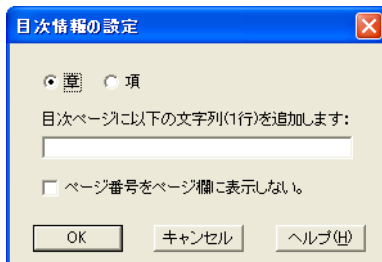
1. 目次情報を設定するページを表示します。

2. ビューア画面の  をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[ページの操作] - [目次情報の設定] を選択します。

[目次情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

3. 各項目を指定します。

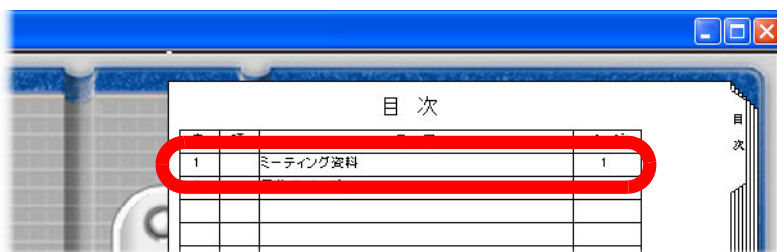




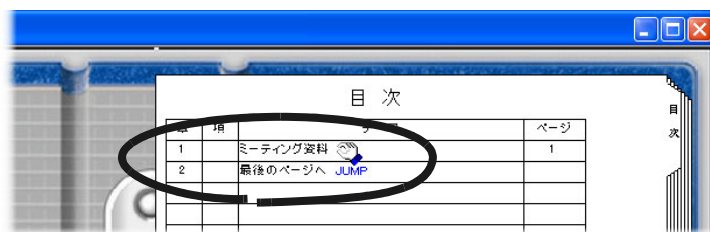
- ・ 目次ページの「テーマ」にする文字列は、全角 25 文字（半角 50 文字）以内で指定できます。
- ・ 目次ページの「テーマ」にした文字列は、バインダ検索時に、検索条件として指定することができます。
- ・ 各項目の詳細は、[目次情報の設定]ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

4.[OK] ボタンをクリックします。

目次ページに、目次情報が設定されます。



- ・ 目次ページの「章」または「項」の番号は、自動で付加されます。
- ・ 目次ページの「テーマ」の文字列をクリックすると、該当するページに移動できます。



- ・ 目次情報を編集または削除できます。詳細は、**ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.17 未読文書を表示する

見開きモードでの操作

未読一覧ページに管理されている未読文書を表示します。

操作



1. 未読一覧ページを表示します。

2. 表示する文書をクリックします。

指定された文書に直接ジャンプします。

この時点で未読ではなくなり、未読一覧から消去されます。



- ・ 未読一覧ページは、目次ページの次のページに表示されます。
- ・ 未読一覧ページを表示するには、バインダ管理画面の[バインダの編集]ダイアログボックスの「未読一覧」で「あり」を選択する必要があります。



7.18 インデックスシートを付ける

見開きモードでの操作

バインダ内の原稿を区分するために、インデックスシートを付けることができます。インデックスシートは、現在 見開きで表示しているページの間追加されます。



- 電子データ付きのページが連続している場合、そのページの間インデックスシートを付けることはできません。たとえば、電子データ付きのページが10ページ目と11ページ目にある場合、この間にインデックスシートを付けることはできません。
- 未整理バインダにインデックスシートを付けることはできません。



操作

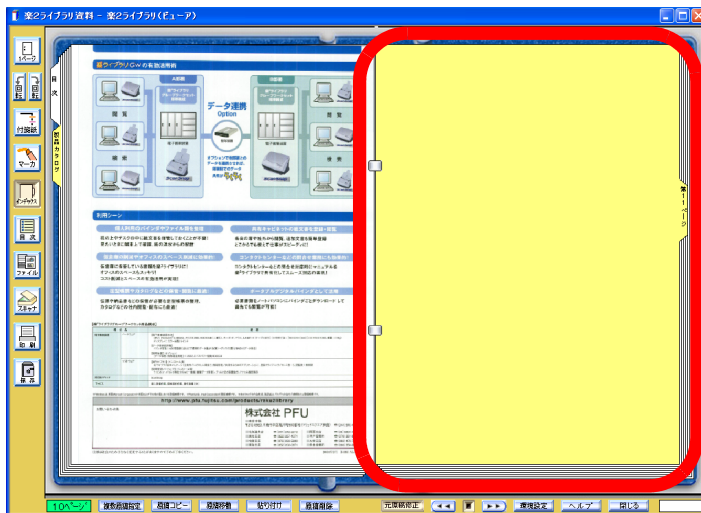


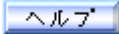
1. インデックスシートを挿入したいページを表示します。

2. ビューア画面の をクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[インデックス作成]を選択します。

インデックスシートが追加されます。



- ・ インデックスシートの次の設定を変更できます。
 - 文字（タグに表示する文字）
 - 色（インデックスシートの色）
 - 幅（タグの長さ）
 - 位置（タグの位置）
- ・ インデックスシートの追加直後は、タグに「第Xページ」と表示されます。また、目次ページの「タイトル」には「第Xページ」と設定され、「章」として追加されます。
- ・ インデックスシート上に、インデックスシートで区切られた範囲内の原稿をサムネイル（小さい絵）で表示できます。詳細は、「7.19 サムネイルを表示する」(136 ページ)を参照してください。
- ・ インデックスシートを編集または削除できます。詳細は、 をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.19 サムネイルを表示する

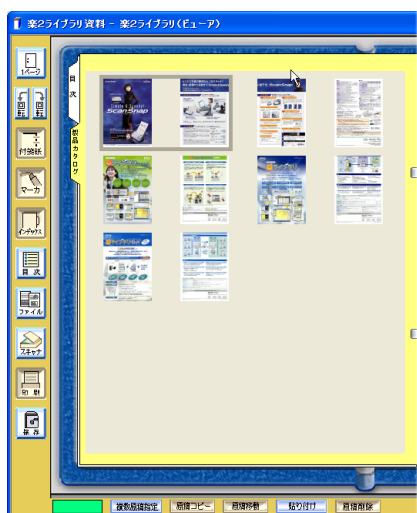
見開きモードでの操作

インデックスシートを付けた場合、インデックスシートで分けられた範囲内の原稿を、インデックスシート上にサムネイル（小さい絵）で表示できます。



1. インデックスシート上でマウスを右クリックし、[サムネイル表示]を選択します。

インデックスシート上に、サムネイルが表示されます。



まって!

- ・ サムネイル表示は、一時的な表示機能です。このため、他のページを表示したり、ビューア画面を終了すると、サムネイルは消えます。
- ・ ページ数が多い場合、処理の速度が遅くなることがあります。



サムネイルの表示順を変更して、原稿の並び順を変更できます。詳細は、「7.25 原稿の並び順を変更する」(153 ページ)を参照してください。

7.20 ページを検索する

見開きモードでの操作

ページ内の文字列を指定して、目的のページを検索できます。

検索対象となる文字列は以下のとおりです。

- ・ 目次情報
- ・ インデックス
- ・ 付箋紙
- ・ ハイパーリンクの表示文字列
- ・ バインダ内で抽出および入力されたテキスト情報

テキスト情報の検索を行うには、まず、ページごとに、検索する文字列を設定しておく必要があります。

検索する文字列は、文字列を抽出するか、テキスト編集画面で文字列を入力して設定します。

検索時には、対象となる文字列の中から、検索条件として指定した文字列が検索され、目的のページが検索されます。

このため、文字列の設定を行ったページだけが検索の対象になります。

検索対象となる文字列を設定する

検索する文字列の設定方法は2通りあります。

- ・ テキストを抽出する
- ・ テキスト編集画面で文字列を入力する

テキストを抽出する方法については、「7.21 テキストを抽出する」(141ページ)と「6.17 バインダ内の全ページのテキストを抽出する」(85ページ)を参照してください。

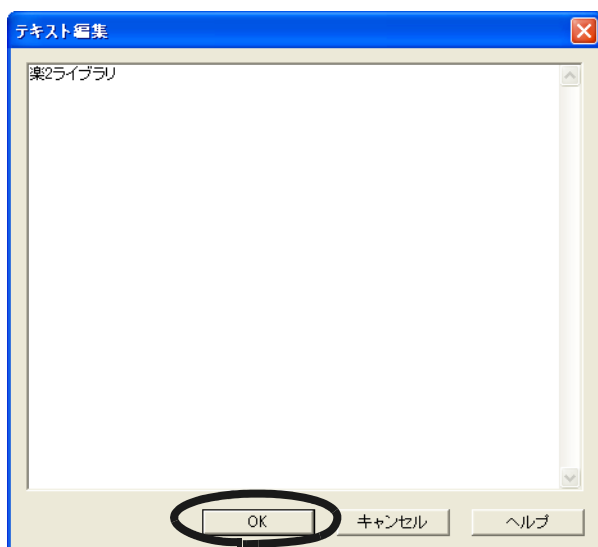
テキスト編集画面で文字列を入力する方法を説明します。



- 1.文字列を入力するページを表示します。
- 2.ページ上でマウスを右クリックし、[テキスト操作] - [テキストを作成 / 編集する] を選択します。

[テキスト編集] ダイアログボックスが表示されます。

- 3.文字列を入力して [OK] ボタンをクリックします。



検索する文字列が設定されます。

- 4.必要に応じて、他のページ上で手順「1.」～「3.」を行います。

目的のページを検索する

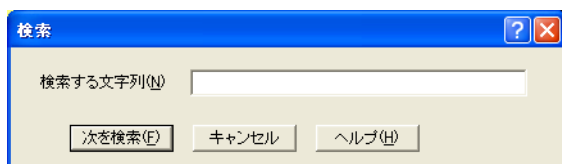
操作



1. ページ上でマウスを右クリックし、[検索]を選択します。

[検索]ダイアログボックスが表示されます。

2. 検索条件にする文字列を入力します。



3. [次を検索] ボタンをクリックします。

検索条件として指定した文字列が含まれるページが表示されます。再度、[次を検索] ボタンをクリックすると、他の該当するページが表示されます。

ヒント



バインダ管理画面からもページを検索することができます。詳細は、「6.22 ページを検索する」(96 ページ)を参照してください。

7.21 テキストを抽出する

見開きモードでの操作

テキストの抽出方法は以下の3通りあります。

- ・ ページ内で範囲を選択して抽出する
- ・ 取り込み時に自動的に抽出する
- ・ バインダ内の全ページを抽出する



- ・ 以下の条件に該当する活字が、抽出の対象になります。
 - フォント：明朝、ゴシック、楷書体
 - サイズ：8～24ポイント
 - 文字種：JIS第一水準漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号（一部）
- ・ 画像の傾き、かすれ、つぶれ、ゴミなどによって、文字の認識率が低下することがあります。
認識させる画像は、傾きやかすれなどが少ない、きれいな画像を使用してください。
- ・ 字間が狭い場合や文字同士が接触している場合、複数の文字で1文字分として認識され、認識率が低下することがあります。
- ・ 行間が狭い場合や行の近辺に図形などがある場合、複数行で1行分として処理され、正しく認識できないことがあります。
- ・ 縦型横書のデータ以外は正しく認識できません。



ページ内で範囲を選択して抽出する

操作



ページ内の範囲を指定してテキストを抽出します。

1. 文字列を抽出するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[テキスト操作] - [テキストを抽出する(範囲指定)]を選択します。
マウスポインタの形が⁺ [] になります。
3. ページ内で、文字列を抽出したい部分をマウスで範囲指定します。
指定した範囲の文字列が抽出されます。



まって!



文字列の抽出範囲をマウスで範囲指定するとき、開始位置とマーカが重ならないようにしてください。



取り込み時に自動的に抽出する

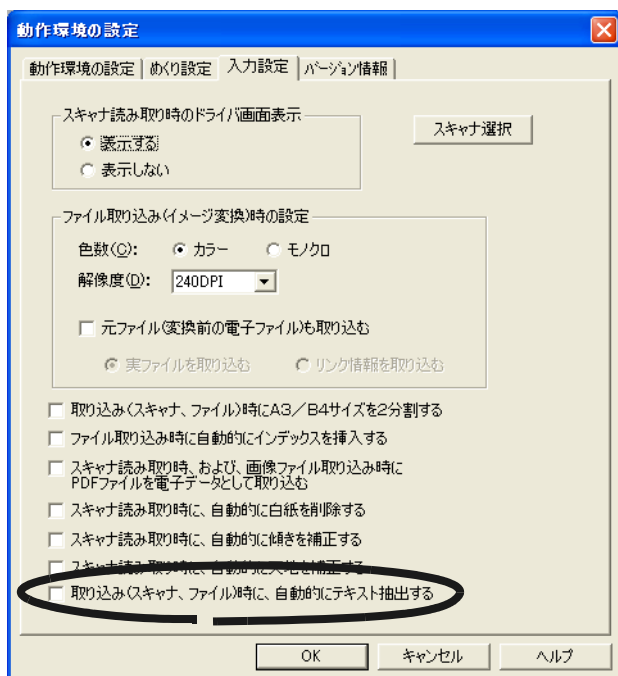
スキャナ読み取り時およびファイルの取り込み時などに、自動的にテキストを抽出します。



1. ビューア画面の **環境設定** をクリックします。

[動作環境の設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [入力設定] タブの、「取り込み(スキャナ、ファイル)時に、自動的にテキスト抽出する」にチェックします。



3. [OK] ボタンをクリックします。

設定後、以下の操作を行うと自動的にテキストを抽出します。

- スキャナ読み取り
- ファイル取り込み
- 連携ソフトウェアからのファイル自動取り込み
- ほかのアプリケーションからのデータ取り込み (BIP 連携を含む)

バイнда内の全ページのテキストを抽出する

選択したバイнда内の全ページを対象にテキストを抽出します。

「6.17 バイнда内の全ページのテキストを抽出する」(85 ページ)を参照してください。



抽出した文字列を編集または削除できます。

文字列の編集は、[テキスト編集]ダイアログボックスで行います。
[テキスト編集]ダイアログボックスの表示方法は、「検索対象となる文字列を設定する」(138 ページ)を参照してください。

7.22 ページを印刷する

見開きモードでの操作

ページを印刷します。



まって!


以下の情報は、印刷されません。

- ・ 目次ページ
- ・ インデックスシート

ページを印刷する

操作



1. ビューア画面の  をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[印刷/メール/保存] - [印刷] を選択します。
[印刷] ダイアログボックスが表示されます。
2. 使用するプリンタや印刷範囲を指定して、[OK] ボタンをクリックします。



- 付箋紙、マーカ、ハイパーリンク（表示文字列を設定してある場合）を印刷する場合、[印刷]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックし、[印刷オプション設定]ダイアログボックスの「編集情報（付箋紙、マーカ等）を含める」をチェックしてください。
このとき、ページの四辺の端の方にある編集情報（ページからはみ出させてある付箋紙など）は、印刷したときに文字が切れたり印刷されなかったりすることがありますのでご注意ください。
- 印刷する用紙に収まるように、ページを縮小して印刷する場合、[印刷]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックし、[印刷オプション設定]ダイアログボックスの「プリンタ装置の印刷可能領域に合わせる」をチェックしてください。
- 印刷するページの画像解像度によっては、ビューア画面で表示されているサイズと異なって印刷される場合があります。

見開き印刷をする

見開き印刷では、現在開かれている見開き（左右）ページが結合して印刷されます。



左右ページの原稿サイズが異なる場合は、見開き印刷を行うことはできません。

操作



- 1.印刷したい見開きページを表示しておいてから、ページ上でマウスを右クリックし、[印刷/メール/保存] - [見開き印刷]を選択します。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。


- 2.使用するプリンタを指定して、[OK] ボタンをクリックします。

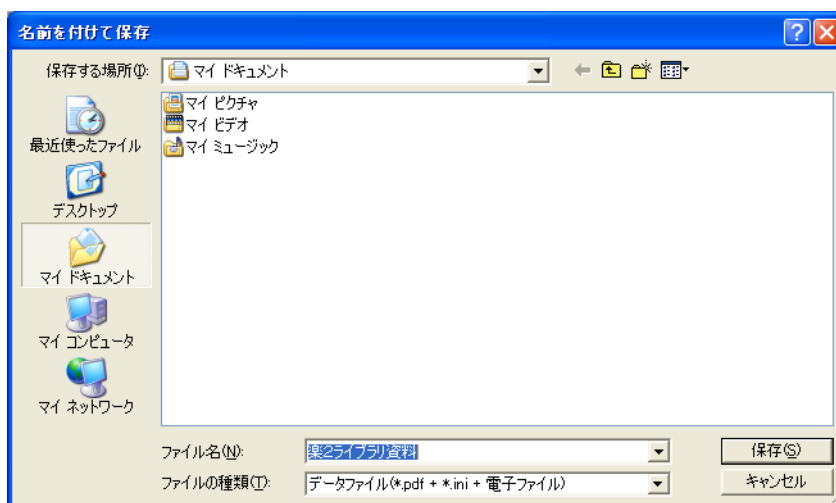
7.23 バインダ内のすべてのページをPDF 保存する

見開きモードでの操作

バインダ内のすべてのページをPDF ファイルにして、保存します。
保存したPDF ファイルは、Adobe® Acrobat®、Acrobat® Reader®、または Adobe® Reader® で表示できます。



1. ビューア画面の  をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[印刷/メール/保存] - [名前を付けて保存 (バインダ全体)] を選択します。
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。
2. 保存する場所やファイル名を指定して、[保存] ボタンをクリックします。





以下の情報も保存されます。

- ・ 目次ページ
- ・ インデックスシート
- ・ 付箋紙
- ・ マーカ
- ・ ハイパーリンク
- ・ テキスト

上記の情報は、Adobe® Acrobat®、Acrobat® Reader®、および Adobe® Reader® では表示できません。[動作環境の設定] ダイアログボックスの[動作環境の設定]タブで「ビューア画面（本製品）の起動」を選択して、ビューア画面とPDF ファイルを関連付けすると表示できます。ビューア画面とPDF ファイルを関連付けると、PDF ファイルをダブルクリックするだけで、閲覧用のビューア画面が起動されるようになります。関連付けの詳細は、「7.49 動作環境を設定する」（186 ページ）または [ヘルプ](#) をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

7.24 原稿を選択して PDF 保存する

見開きモードでの操作

選択した原稿を PDF 形式にして、保存します。

保存した PDF ファイルは、Adobe® Acrobat®、Acrobat® Reader®、または Adobe® Reader® で表示できます。



1. 保存する原稿を選択します。

複数の原稿を PDF 保存する場合は、複数の原稿を指定します。

複数の原稿を指定する場合は、「7.30 複数の原稿を指定する」(163 ページ)を参照してください。

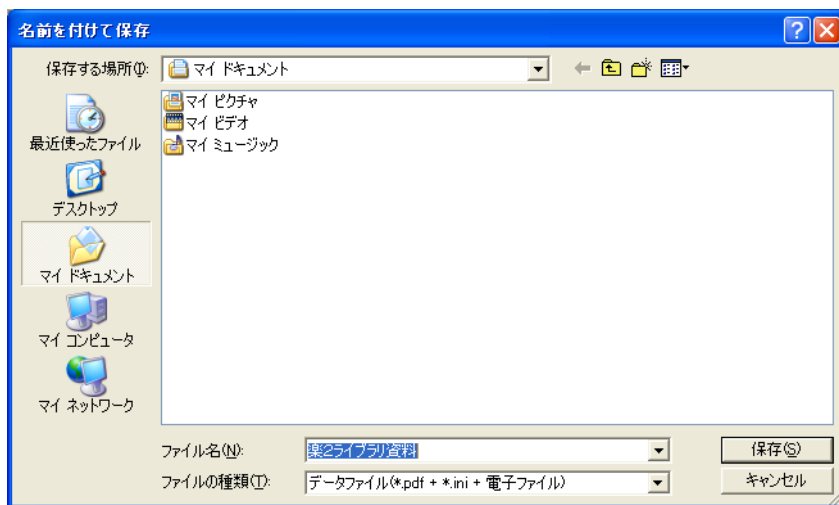
2. ページ上でマウスを右クリックし、[原稿の操作] - [名前を付けて保存] (複数の原稿を指定した場合は [名前を付けて保存 (X ~ XX ページの原稿)]) を選択します。

X には、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XX には、指定している原稿の終了ページが表示されます。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

3. 保存する場所やファイル名を指定して、[保存] ボタンをクリックします。





- 以下の情報も保存されます。

- 目次ページ
- インデックスシート
- 付箋紙
- マーカ
- ハイパーリンク
- テキスト

上記の情報は、Adobe® Acrobat®、Acrobat® Reader®、および Adobe® Reader® では表示できません。[動作環境の設定] ダイアログボックスの[動作環境の設定]タブで「ビューア画面（本製品）の起動」を選択して、ビューア画面とPDF ファイルを関連付けすると表示できます。ビューア画面とPDF ファイルを関連付けすると、PDF ファイルをダブルクリックするだけで、閲覧用のビューア画面が起動されるようになります。関連付けの詳細は、「7.49 動作環境を設定する」（186 ページ）または [ヘルプ](#) をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

- 指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを確認するメッセージが表示されます。
- 指定した原稿に電子データ付きの原稿の一部が含まれている場合、原稿の画像データだけが保存されます（電子ファイルは保存されません）。

7.25 原稿の並び順を変更する

見開きモードでの操作

インデックスシート上にサムネイル（小さい絵）を表示した場合、サムネイルの表示順を変更して、原稿の並び順を変更することができます。



- ・ 電子データ付きの原稿は、並び順を変更できません。
- ・ 並び順の変更は、原稿の単位（2 ページ単位）で行われます（表面または裏面だけのページの並び順を変更することはできません）。



操作



1. インデックスシートにサムネイルを表示します。

詳細は、「7.19 サムネイルを表示する」（136 ページ）を参照してください。

2. 並び順を変更したい原稿のサムネイルを選択します。

3. 原稿を移動する位置まで、サムネイルをドラッグ&ドロップします。



サムネイルの表示順が変更され、原稿の並び順が変更されます。



原稿の並び順を変更した場合、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、原稿の並び順が変更された状態が表示されます。

7.26 原稿を削除する

見開きモードでの操作

バイндаから原稿を削除します。



- 電子データ付きの原稿を削除すると、楽²ライブラリで管理されている元のファイルも削除されます。
- 電子データ付きの原稿の一部だけ選択した場合、選択した原稿だけでなく、同じ電子ファイルの原稿がすべて削除されます。



操作



1. 削除する原稿を表示します。

複数の原稿を削除する場合は、複数の原稿を指定します。

複数の原稿を指定する方法は、「7.30 複数の原稿を指定する」(163 ページ)を参照してください。

2. ビューア画面の **原稿削除** をクリックします。

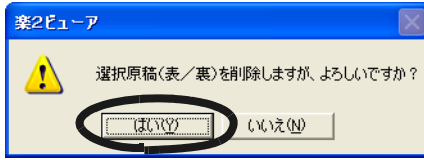
または、削除する原稿上でマウスを右クリックし、[原稿の操作] - [削除] (複数の原稿を指定した場合は [削除 (X ~ XX ページの原稿)]) を選択します。

X には、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XX には、指定している原稿の終了ページが表示されます。

メッセージが表示されます。

3. [はい] ボタンをクリックします。

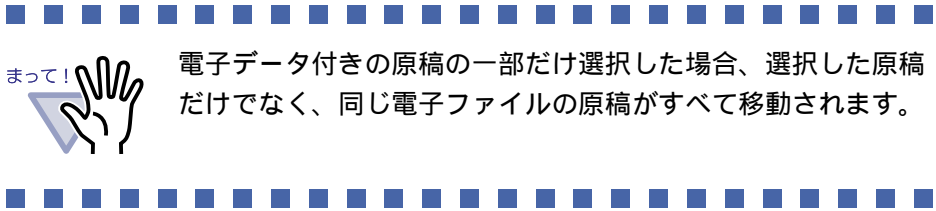


原稿が削除されます。

7.27 原稿を移動（切り取り）する

見開きモードでの操作

原稿を移動します。

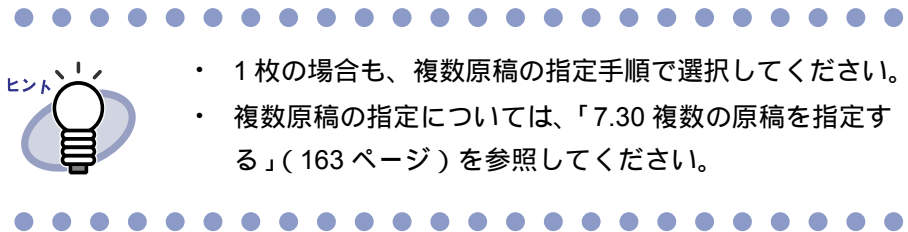


ドラッグ & ドロップによる別バインダへの原稿の移動



1. 移動したい原稿があるバインダと移動先のバインダを、ビューア画面で開いておきます。

2. 複数原稿の指定手順で原稿を選択します。



3. 選択した原稿をドラッグして、移動先のバインダ上（ページ上）にドロップします。

指定したバインダに、原稿が移動します。

クリップボードへの移動

原稿を切り取って、クリップボードに移動します。

操作



1. クリップボードに移動する原稿を表示します。

複数の原稿を移動する場合は、複数の原稿を指定します。

複数の原稿を指定する方法は、「7.30 複数の原稿を指定する」(163ページ)を参照してください。

2. ビューア画面の **原稿移動** をクリックします。

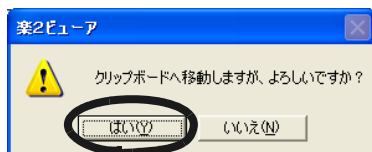
または、原稿上でマウスを右クリックし、[原稿の操作] - [クリップボードへ移動] (複数の原稿を指定した場合は [クリップボードへ移動 (X ~ XX ページの原稿)]) を選択します。

X には、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XX には、指定している原稿の終了ページが表示されます。

メッセージが表示されます。

3. [はい] ボタンをクリックします。



原稿が切り取られ、クリップボードに移動します。



- すでに、クリップボードに移動した原稿がある場合は、クリップボードの原稿を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- クリップボードに移動した原稿を、他のページの前に貼り付けることができます。詳細は、「7.29 原稿を貼り付ける」(162 ページ)を参照してください。
- 指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイルを処理するか、原稿の画像データだけを処理するかを確認するメッセージが表示されます。

7.28 原稿をコピーする

見開きモードでの操作

クリップボードに原稿をコピーします。

操作



1. クリップボードにコピーする原稿を表示します。

複数の原稿をコピーする場合は、複数の原稿を指定します。

複数の原稿を指定する方法は、「7.30 複数の原稿を指定する」(163ページ)を参照してください。

2. ビューア画面の **原稿コピー** をクリックします。

または、原稿上でマウスを右クリックし、[原稿の操作] - [クリップボードへコピー] (複数の原稿を指定した場合は [クリップボードへコピー (X ~ XX ページの原稿)]) を選択します。

Xには、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XXには、指定している原稿の終了ページが表示されます。

原稿がクリップボードにコピーされます。



- すでに、クリップボードにコピーした原稿がある場合は、クリップボードの原稿を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- クリップボードにコピーした原稿を、他のページの前に貼り付けることができます。
詳細は、「7.29 原稿を貼り付ける」(162 ページ)を参照してください。
- 指定した原稿に電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合、原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを確認するメッセージが表示されます。
- 指定した原稿に電子データ付きの原稿の一部が含まれている場合、原稿の画像データだけがコピーされます(電子ファイルはコピーされません)。

7.29 原稿を貼り付ける

見開きモードでの操作

クリップボードに移動またはコピーした原稿を、現在表示しているページの前に貼り付けます。



電子データ付きの原稿と関連している複数枚の原稿の間には、クリップボードに移動またはコピーした原稿を貼り付けることはできません。



操作



1. 貼り付け先にするページを表示します。
2. ビューア画面の **貼り付け** をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[クリップボードより貼り付け] を選択します。
クリップボードの原稿が貼り付けられます。

7.30 複数の原稿を指定する

見開きモードでの操作

複数の原稿を指定して、以下の操作ができます。

- ・ クリップボードへ移動
- ・ クリップボードへコピー
- ・ 削除
- ・ 名前を付けて保存



ヒント

複数の原稿を指定してできる操作の詳細は、以下を参照してください。

- ・ クリップボードへ移動
「7.27 原稿を移動（切り取り）する」(157 ページ)
- ・ クリップボードへコピー
「7.28 原稿をコピーする」(160 ページ)
- ・ 削除
「7.26 原稿を削除する」(155 ページ)
- ・ 名前を付けて保存
「7.24 原稿を選択して PDF 保存する」(150 ページ)

ここでは、複数の原稿を指定して、まとめて削除する操作を例に説明します。

操作



1.削除したい原稿の開始ページを表示します。

2.ビューア画面の **複数原稿指定** をクリックします。

または、原稿上でマウスを右クリックし、[原稿の操作] - [複数原稿の指定] を選択します。

原稿が指定されます。
指定されているページは、緑色になります。



3. 削除したい原稿の最終ページまでページをめくります。



複数原稿の指定状態を解除したい場合は、ビューア画面の

キャンセル をクリックしてください。

または、原稿上でマウスを右クリックし、[元に戻す]を選択してください。

めくったページだけ、原稿が指定されます。

4. ビューア画面の **原稿削除** をクリックします。

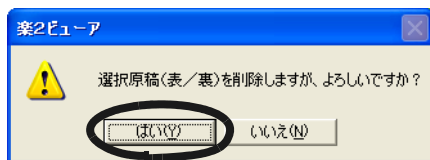
または、削除する原稿上でマウスを右クリックし、[原稿の操作]
- [削除 (X ~ XX ページの原稿)] を選択します。

X には、指定している原稿の開始ページが表示されます。

XX には、指定している原稿の終了ページが表示されます。

メッセージが表示されます。

5. [はい] ボタンをクリックします。



手順「3.」で指定した原稿が削除されます。



指定した原稿に電子データ付きの原稿が含まれている場合、以下のように処理されます。

	電子データ付きの原稿がすべて含まれている場合	電子データ付きの原稿が一部分だけ含まれている場合
クリップボードへ移動		
クリップボードへコピー		画像のみ
削除		
名前を付けて保存		画像のみ

：原稿の画像データおよび電子ファイル进行处理するか、原稿の画像データだけ进行处理するかを選択できます。

：原稿の画像データおよび電子ファイルが処理されます。この場合、同じ電子ファイルの電子データ付きの原稿がすべて処理されます。

画像のみ：原稿の画像データだけが処理されます。

7.31 ページをコピーする

見開きモードでの操作

バインダ内のページをコピーします。

操作



1. クリップボードにコピーするページを表示します。

2. ページ上でマウスを右クリックし、[ページの操作] - [クリップボードへコピー]を選択します。

選択したページがクリップボードにコピーされます。



- すでに、クリップボードにコピーしたページがある場合は、クリップボードの原稿を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- クリップボードにコピーしたページを、他のページに貼り付けることができます。詳細は、「7.32 ページを貼り付ける」(167ページ)を参照してください。
- 指定したページに電子データ付きのページが含まれている場合、ページの画像データだけがコピーされます(電子ファイルはコピーされません)。



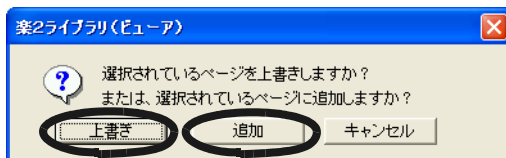
7.32 ページを貼り付ける

見開きモードでの操作

クリップボードにコピーしたページを貼り付けます。現在表示しているページに上書きするか、現在表示しているページの前に追加します。



1. 貼り付け先のページを表示します。
2. ビューア画面の **貼り付け** をクリックします。
または、ページ上でマウスを右クリックし、[クリップボードより貼り付け]を選択します。
メッセージが表示されます。
3. 上書きするときは [上書き] ボタンを、ページを追加するときは [追加] ボタンをクリックします。



クリップボードのページが貼り付けられて、ページが上書きまたは追加されます。

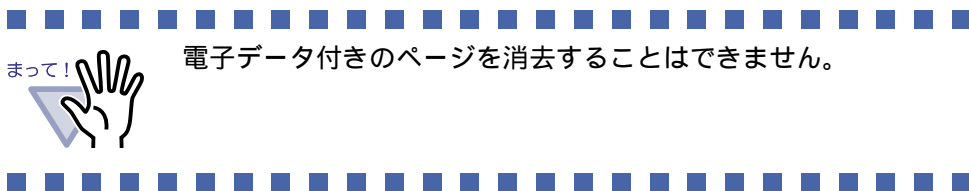


電子データ付きのページには、クリップボードにコピーしたページを貼り付けることはできません。

7.33 ページを消去する（白紙にする）

見開きモードでの操作

選択したページの内容を消去します。この場合、消去されたページは白紙になります。



操作



1. 消去するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[ページの操作] - [消去（白紙にする）]を選択します。

選択されたページの内容が消去されて白紙になります。

7.34 ページを削除する

見開きモードでの操作

選択したページを削除します。この場合、削除した分、同一インデックス内の以降のページが前に詰められ、末尾ページが白紙になります。



- 削除したページの後ろが電子データ付きのページの場合は、以降のページは前に詰められません。
- 電子データ付きのページを削除することはできません。
- 同一インデックス内の以降のページの、付箋紙やマーカの位置がずれる場合があります。
- 同一インデックス内の以降のページに、A3/B4 データの 2 分割されたページがある場合は、ページずれによって、見開き表示できなくなる場合があります。



操作



1. 削除するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[ページの操作] - [ページ削除] を選択します。

選択したページが削除されます。

7.35 白紙ページを追加する

見開きモードでの操作

現在表示しているページの前に、白紙ページを追加します。この場合、追加した分、同一インデックス内の以降のページが後ろにずれます。



- 電子データ付きの複数のページの間には、白紙ページを追加することはできません。
- 同一インデックス内の以降のページの、付箋紙やマーカの位置がずれる場合があります。
- 同一インデックス内の以降のページに、A3/B4 データの2分割されたページがある場合は、ページずれによって、見開き表示できなくなる場合があります。



操作



1. 白紙ページを追加するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[ページの操作] - [白紙ページ追加] を選択します。

選択されたページの前に白紙ページが追加されます。

7.36 ページをメール送信する

見開きモードでの操作

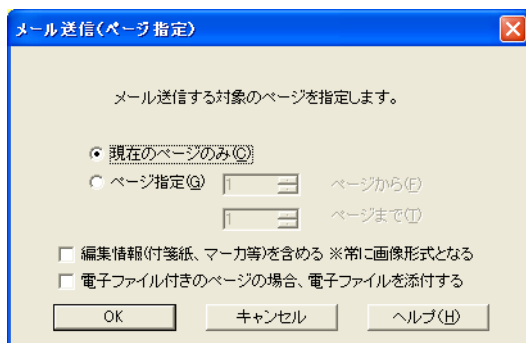
バインダ内のページを添付して、メールを送信します。



- 1.メール送信するページ上でマウスを右クリックし、[印刷/メール/保存] - [メール送信]を選択します。

[メール送信(ページ指定)]ダイアログボックスが表示されます。

- 2.メール送信するページの範囲を指定します。



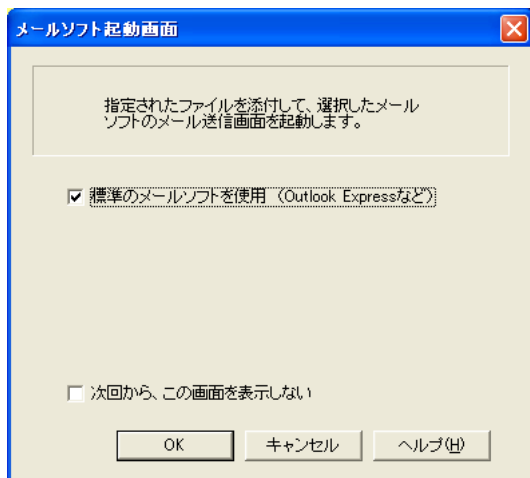
各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。



- 3.[OK]をクリックします。

メールソフト起動画面が表示されます。

4. 各項目を設定します。



各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。

5. [OK] をクリックします。

手順「4.」で選択したメールソフトのメール送信画面が起動され、指定したページが添付ファイル (PDF ファイル) として、メールに添付されます。手順「2.」で電子ファイルを添付するよう指定した場合には、電子ファイルが添付されます。



標準のメールソフトを使用する場合、メール送信画面の「件名」に「バイндаのタイトル_ (指定したページ).pdf;」と入力されません。

7.37 元のファイルを修正する

見開きモードでの操作

ファイル取り込み時に、元のファイル（電子データ）も一緒に取り込んだ場合、ビューア画面から、ファイルに関連付けされているアプリケーションを起動して、ファイルを修正できます。



- ファイル取り込み時に元のファイル（電子データ）も一緒に取り込む場合、[動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブで「元ファイル（変換前の電子ファイル）」を取り込む」をチェックしておく必要があります。詳細は、「7.49 動作環境を設定する」（186 ページ）を参照してください。
- 画像形式のファイルは修正できません。
- ファイルに関連付けされているアプリケーションでファイルを上書き保存すると、ビューア画面のページが更新されます。
- ファイルの内容を修正して保存した場合、電子データの原稿にある情報（付箋紙、マーカ、ハイパーリンク）は消去されます。



操作



1. ファイルを修正するページを表示します。



修正できるページには、関連付けされているアプリケーションのアイコンがページの下部に表示されています。



2.ビューア画面の **元原稿修正** をクリックします。

または、ページ上のアプリケーションのアイコンをダブルクリックします。

または、ページ上でマウスを右クリックし、[電子データの操作]
- [修正] を選択します。

ファイルに関連付けされているアプリケーションが起動され、ファイルの先頭ページが表示されます。

3.ファイルの内容を修正して、保存します。

7.38 元のファイルを削除する

見開きモードでの操作

ファイル取り込み時に、元のファイル（電子データ）も一緒に取り込んだあとで、元のファイルが不要になった場合、ビューア画面から、ファイルを削除できます。



ファイル取り込み時に元のファイル（電子データ）も一緒に取り込む場合、[動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブで「元ファイル（変換前の電子ファイル）を取り込む」をチェックしておく必要があります。

詳細は、「7.49 動作環境を設定する」(186 ページ)を参照してください。



操作



1. ファイルを削除するページを表示します。
2. ページ上でマウスを右クリックし、[電子データの操作] - [削除]を選択します。

ファイルが削除されます。

7.39 名刺シート（名刺用の原稿）を作成する

見開きモードでの操作

名刺を配置するための白紙の原稿（名刺シート）を新規に作成します。

操作



1. 名刺シートを新規に作成したいページの上でマウスを右クリックします。
2. [原稿の操作] - [名刺シートの作成] を選択します。

名刺シートが作成されます。

7.40 名刺を上下反転する

見開きモードでの操作

名刺を上下反転します。



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[上下反転]を選択します。



- ・ 上下反転を元に戻すには、再度、名刺の上でマウスを右クリックし、[上下反転]を選択します。
- ・ 上下反転した場合、ビューア画面を終了するときに変更を保存すると、次回以降、上下反転された状態で名刺が表示されます。

7.41 名刺を移動（切り取り）する

見開きモードでの操作

名刺を切り取って、クリップボードに移動します。

操作



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[クリップボードへ移動]を選択します。

名刺が切り取られ、クリップボードに移動します。



ヒント

- すでに、クリップボードに移動した名刺がある場合は、クリップボードの名刺を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- クリップボードにコピーした名刺を、他の位置または名刺シートに貼り付けることができます。

7.42 名刺をコピーする

見開きモードでの操作

クリップボードに名刺をコピーします。



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[クリップボードへコピー]を選択します。

選択した名刺がクリップボードにコピーされます。



- ・ すでに、クリップボードにコピーした名刺がある場合は、クリップボードの名刺を上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- ・ クリップボードにコピーした名刺シートを、他の位置または名刺シートに貼り付けることができます。



7.43 名刺を貼り付ける

見開きモードでの操作

クリップボードにコピーした名刺を、現在表示している名刺シートに貼り付けます。



1. 貼り付け先の名刺シートを表示します。
2. 名刺シートの上でマウスを右クリックし、[クリップボードより名刺貼り付け]を選択します。
クリップボードの名刺が貼り付けられます。

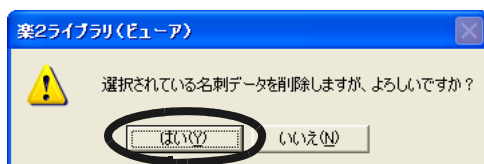
7.44 名刺を削除する

見開きモードでの操作

名刺を削除します。



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[削除] を選択します。
2. [はい] ボタンをクリックします。



名刺が削除されます。

7.45 名刺を保存する

見開きモードでの操作

選択した名刺を PDF または TIFF にして、保存します。

保存した PDF ファイルは、Adobe® Acrobat®、Acrobat® Reader®、または Adobe® Reader® で表示できます。



付箋紙やマーカの情報は保存されません。



操作



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[名前を付けて保存] を選択します。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

2. ファイルの種類 (PDF または TIFF) を選択して、[保存] ボタンをクリックします。

7.46 名刺を印刷する

見開きモードでの操作

名刺を印刷します。



まって!




付箋紙やマーカの情報は印刷されません。



操作



- 1.印刷する名刺を選択して  をクリックします。または、名刺の上でマウスを右クリックし、[印刷]を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

- 2.使用するプリンタや印刷範囲を指定して、[OK] ボタンをクリックします。



ヒント



印刷する名刺の解像度によっては、ビューア画面で表示されているサイズと異なって印刷される場合があります。



7.47 名刺をメール送信する

見開きモードでの操作

バインダ内の名刺を添付して、メール送信します。

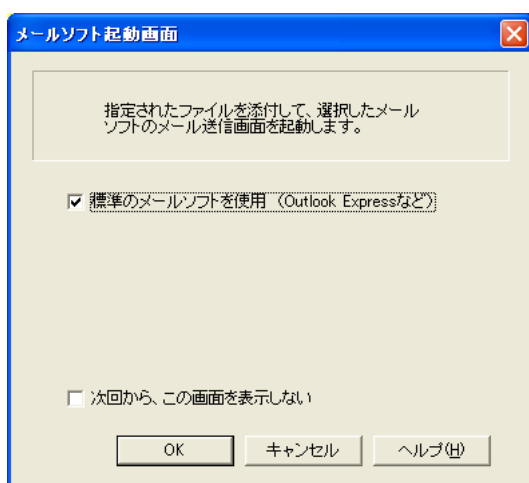


1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[メール送信]を選択します。

メールソフト起動画面が表示されます。

2. 各項目を設定します。

各項目の詳細は、ダイアログボックスの[ヘルプ]ボタンをクリックして、『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。



3. [OK] をクリックします。

手順「2.」で選択したメールソフトのメール送信画面が起動され、指定したページが添付ファイル (PDF ファイル) として、メールに添付されます。

7.48 名刺を名刺ファイリング OCR で管理する

見開きモードでの操作

「名刺ファイリング OCR」と連携することによって、名刺データベースを作成することができます。

名刺ファイリング OCR がインストールされているクライアントコンピュータでのみ連携が可能です。

操作



1. 名刺の上でマウスを右クリックし、[送る] - [名刺ファイリング OCR] を選択します。

名刺ファイリング OCR が起動します。

ヒント



以降の操作については、「名刺ファイリング OCR」のマニュアルを参照してください。

7.49 動作環境を設定する

見開きモードでの操作

以下の設定ができます。

- ・ **楽²ライブラリとPDFファイルの関連付け**
PDF ファイルを楽²ライブラリのビューア画面と関連付けするかどうかを設定します。
関連付けを行うと、PDF ファイルをダブルクリックするだけでビューア画面が起動され、内容を表示できるようになります。
- ・ **ビューア画面の表示モード**
ビューア画面に、操作ボタン（左側と下部のボタン）を表示させるかどうかを設定します。
また、バインダ中央の金具（2個）を表示させるかどうかも設定できます。
- ・ **PDF 作成モード**
PDF ファイルの圧縮タイプを、通常モードとサイズ優先モードから選択します。
- ・ **ページをメール送信するときに、メールソフト起動画面を表示するかどうかの設定**
ページをメール送信するときに、メールソフトを選択する画面を表示するかどうかを設定します。
- ・ **ページをめくるときの速さ**
ページをめくるときの速さを設定します。
- ・ **連続して自動でページをめくるときの間隔**
連続して自動でページをめくるときの、ページをめくる間隔を設定します。
- ・ **スキャナ読み取り時の動作**
スキャナ読み取り時に、スキャナドライバ画面（TWAIN ドライバの画面）を表示させるかどうかを設定します。また、使用するスキャナを選択もできます。

-
- **ファイル取り込み時の動作**
イメージ変換してファイルを取り込むときの色数と解像度を設定します。
また、ファイル取り込み時に元のファイル（電子データ）も一緒に取り込まれるようにするかどうかを設定します。元のファイルも取り込む場合は、実ファイルを取り込むかリンク情報を取り込むかも設定します。
 - **A3、B4 サイズのファイルを 2 分割するかどうか**
A3 または B4 サイズのファイルを、2 分割して取り込むかどうかを設定します。
 - **ファイル取り込み時にインデックスシートを自動で追加するかどうかの設定**
ファイル取り込み時に、取り込んだファイルの先頭にインデックスシートを自動で追加するかどうかを設定します。
 - **スキャナ読み取り時、および画像ファイル取り込み時に PDF ファイルを電子データとして取り込むかどうかの設定**
スキャナ読み取り時および画像ファイル取り込み時に、PDF ファイルを電子データ（1 ページ単位）として取り込むかどうかを設定します。
電子ファイル取り込み時は対象外です。
スキャナには ScanSnap も含まれます。
 - **スキャナ読み取り時に、読み取った画像が白紙の場合、自動的に削除するかどうかの設定**
スキャナ読み取り時に、読み取った画像が白紙の場合、そのページを削除するかどうかを設定します。
ScanSnap には対応しません。
 - **スキャナ読み取り時に、読み取った画像の傾きを自動的に補正するかどうかの設定**
スキャナ読み取り時に、読み取った画像の画像内容からデータ内容の傾きを判定し、補正するかどうかを設定します。
名刺バイндаでは無効となります。
ScanSnap には対応しません。
 - **スキャナ読み取り時に、自動的に天地を補正するかどうかの設定**
スキャナ読み取り時に、読み取った画像の画像内容から天地が逆さまと判断した場合、180 度回転して取り込むかどうかを設定します。
ScanSnap には対応しません。

- ・ **スキャナ読み取り時、およびファイル取り込み時に、自動的にテキスト抽出するかどうかの設定**

以下の場合に自動的にテキスト抽出するかどうかを設定します。

- スキャナ読み取り
- ファイル取り込み
- 連携ソフトウェアからのファイル自動取り込み
- ほかのアプリケーションからのデータ取り込み（BIP 連携を含む）

- ・ **名刺読み取りの設定**

フラットベッドスキャナを使用して名刺データを取り込む場合の、読み取り方法（名刺の置き方）を設定します。



- ・ 詳細は、**ヘルプ** をクリックして『ビューア画面のヘルプ』を参照してください。
- ・ [動作環境の設定] ダイアログボックスの各タブの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、各項目の詳細を参照できます。



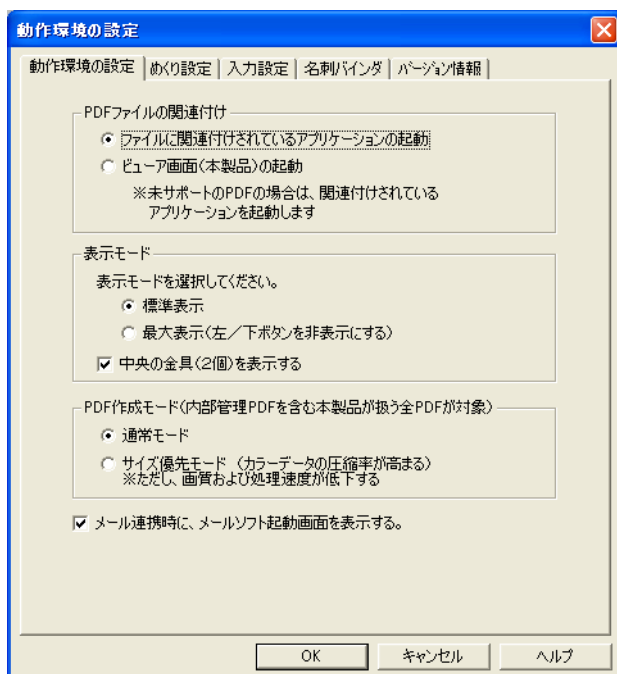
1. ビューア画面の **環境設定** をクリックします。

[動作環境の設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. 各タブをクリックし、各項目を設定します。

- ・ 以下を設定する場合、[動作環境の設定] タブをクリックします。
 - 楽²ライブラリとPDFファイルの関連付け
 - ビューア画面の表示モード
 - PDF作成モード
 - ページをメール送信するときに、メールソフト起動画面を表示するかどうか
- ・ 以下を設定する場合、[めくり設定] タブをクリックします。
 - ページをめくるときの速さ
 - 連続して自動でページをめくるときの間隔

- 以下を設定する場合、[入力設定]タブをクリックします。
 - スキャナ読み取り・ファイル取り込み時の動作
 - 読み取り時に使用するスキャナ
 - A3 または B4 サイズのデータを2分割するかどうか
 - ファイル取り込み時のインデックスシートを自動で追加するかどうか
 - スキャナ読み取り時、および画像ファイル取り込み時に PDF ファイルを電子データとして取り込むかどうか
 - スキャナ読み取り時に、読み取った画像が白紙の場合、自動的に削除するかどうか
 - スキャナ読み取り時に、読み取った画像の傾きを自動的に補正するかどうか
 - スキャナ読み取り時に自動的に天地を補正するかどうか
 - スキャナ読み取り時、およびファイル取り込み時に、自動的にテキスト抽出するかどうか
- 以下を設定する場合、[名刺バイнда]タブをクリックします。
 - フラットベッドスキャナを使用して名刺データを取り込む場合の読み取り方法(名刺の置き方)を、1枚置きにするかフリーにするか
- 楽²ビューアのバージョン情報を参照する場合、[バージョン情報]タブをクリックします。



3.[OK]ボタンをクリックします。

[動作環境の設定]ダイアログボックスが閉じ、動作環境が設定されます。



- PDF作成モードをサイズ優先モードに指定した場合は、保存やめくり操作の処理速度が低下します。
- 名刺バインダの、フラットベッドでの読み取り方法をフリーにした場合、名刺の種類（色、柄など）によっては、名刺を正しく抽出できない場合があります。



第 8 章



その他の機能

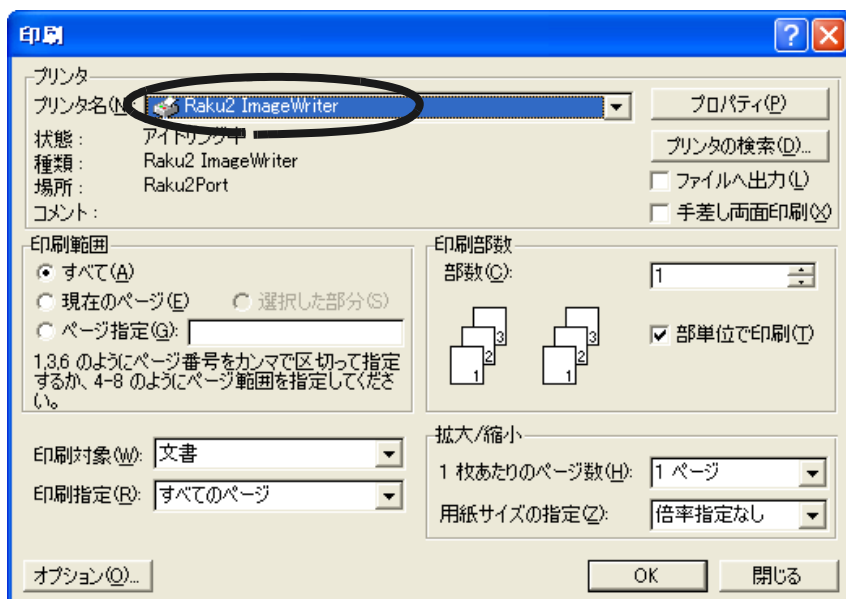
この章では、その他の機能について説明します。

8.1 他のアプリケーションからデータを取り込む

他のアプリケーションの印刷メニューから、印刷するのと同じ感覚でデータを取り込むことができます。

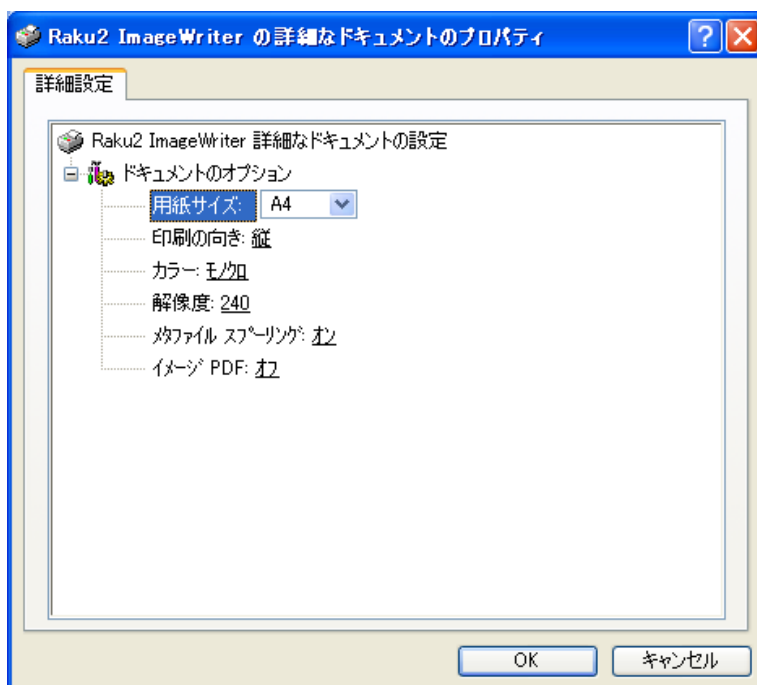


1. アプリケーション (Word など) を起動し、メニューから印刷を実行します。



[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2. プリンタ名に「Raku2 ImageWriter」を指定し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



[Raku2 ImageWriter の詳細なドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

• 用紙サイズ

印刷実行時の用紙サイズを選択します。
アプリケーションによっては有効にならない場合があります。

• 印刷の向き

印刷実行時の印刷の向きを、縦と横から選択します。
アプリケーションによっては有効にならない場合があります。

• カラー

印刷実行時のカラーを、モノクロとカラーから選択します。
アプリケーションによっては有効にならない場合があります。

• 解像度

印刷実行時の解像度を選択します。
アプリケーションによっては有効にならない場合があります。

• メタファイル スプーリング

通常はオンを選択してください。

・ **イメージ PDF**

作成する PDF を、イメージ PDF (画像形式の PDF) にするかどうかを設定します。

常にイメージ PDF にしたい場合はオンを選択してください。

3. 各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

4. [OK] ボタンをクリックします。

[バインダの選択] ダイアログボックスが表示されます。



[バインダの選択] ダイアログボックスの「バインダー一覧」の表示順は、実際のキャビネット内のバインダの表示順と異なる場合があります。同一タイトル名のバインダが存在する場合はご注意ください。



5. 追加先バインダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

指定したバインダにデータが追加されます。



データを取り込む環境には存在するが、バインダを開く環境には存在しないフォントがありうる場合 (ネットワーク共有で運用する場合など)、バインダで表示されるフォントと元データのフォントの、種類やサイズが異なることがあります。このような現象を事前に回避したいときは、データを取り込む環境で、プリンタ (Raku2 ImageWriter) のプロパティの「イメージ PDF」をオンに設定してください。



8.2 BIP 連携

BIP で生成した PDF ファイルを取り込んでバインダに追加し、楽²ライブラリで管理することができます。

追加するバインダは、設定ツールで設定します。



- BIP は、帳票設計から印刷業務の開発 / 保守まで帳票印刷業務をトータルにサポートする帳票・印刷ソフトです。BIP は、別途購入する必要があります。
- なお、BIP の設定に関する留意事項については、「BIP- 楽²ライブラリ連携 利用手引書」を参照してください。

設定ツール

格納先バインダは、設定ツールを使って設定します。

設定ツールは楽²ライブラリ管理画面のインストールフォルダに格納されている「Raku2job.exe」を起動します。

例) C:¥ Program Files ¥ PFU ¥ 楽²ライブラリ (Personal 版)
¥ Raku2job.exe

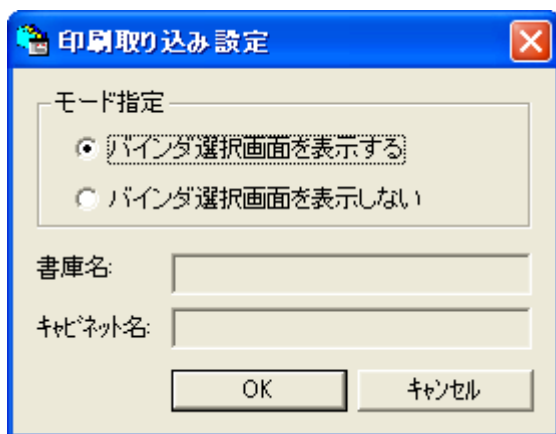
設定ツールで、以下の設定ができます。

- **あらかじめ格納先 (書庫、キャビネット) を設定しておき、自動的に仕分ける**

BIP で印刷を行ったときに、印刷ドキュメント名をバインダタイトル名として、あらかじめ設定した格納先に、バインダを自動作成および自動追加します。

- **手動で格納先 (書庫、キャビネット、バインダ) を設定し、仕分ける**
[バインダの選択] ダイアログボックスを表示し、格納先を指定し、追加します。

1. 「Raku2job.exe」を起動します。



[印刷取り込み設定] ダイアログボックスが表示されます。

- **モード指定**

BIP で生成した PDF ファイルをバイндаに追加する際に、[バイндаの選択] ダイアログボックスを表示させるかどうかを設定します。

自動で仕分ける場合は「バイнда選択画面を表示しない」を選択し、手動で仕分ける場合は「バイнда選択画面を表示する」を選択します。

- **書庫名**

「バイнда選択画面を表示しない」を選択した場合に、ここで格納先の書庫名を設定します。

- **キャビネット名**

「バイнда選択画面を表示しない」を選択した場合に、ここで格納先のキャビネット名を設定します。

2. 各項目を設定します。

自動で仕分ける場合は、「バイнда選択画面を表示しない」を選択し、ファイルを格納する書庫名、キャビネット名を入力します。

手動で仕分ける場合は、「バイнда選択画面を表示する」を選択し、[バイндаの選択] ダイアログボックスで格納先の書庫、キャビネット、バイндаを指定します。



- 自動で仕分ける場合、BIP の帳票名が半角換算 48 文字を超えると、超えた文字列はバインダ名に反映されません。
- 手動で仕分ける場合、格納先は事前に作成しておいてください。

3.[OK] ボタンをクリックします。



- BIP からのデータ登録中に中止を行った場合は、途中までのデータが取り込まれます。
- BIP からのデータ登録中（タスクトレイにプリンタアイコンが表示中）は、バインダを開くことはできません。
- 設定ツールで指定されたキャビネット内には、バインダは 21 個までしか作成できません。21 個を超えるとエラーとなりますので、事前に別のキャビネットを設定するなどの対応を行う必要があります。

8.3 ファイル自動取り込み

ファイルの自動取り込み機能を利用すると、ビューア画面を表示することなく、デスクトップ上のアイコンにファイルをドロップするだけで、あらかじめ設定したバインダにファイルを追加することができます。

また、対象フォルダを設定して、そこへコピーまたは移動したファイルを自動的にバインダに追加することもできます。

ファイルの自動取り込み機能を利用するには、製品 CD-ROM に同梱されている「楽²ライブラリ 連携ソフトウェア」をインストールする必要があります。ここでは、「楽²ライブラリ 連携ソフトウェア」のインストール方法、設定方法、および使い方について説明します。



楽²ライブラリがインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、先に楽²ライブラリをインストールしてください。

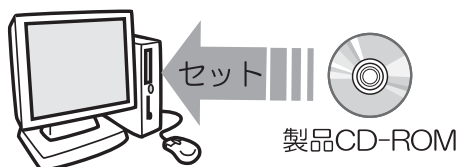
また、「楽²ライブラリ 連携ソフトウェア」をインストールした後、楽²ライブラリ（および楽²ビューア）をアンインストールした場合、「楽²ライブラリ 連携ソフトウェア」は正常に動作しません。



インストールする

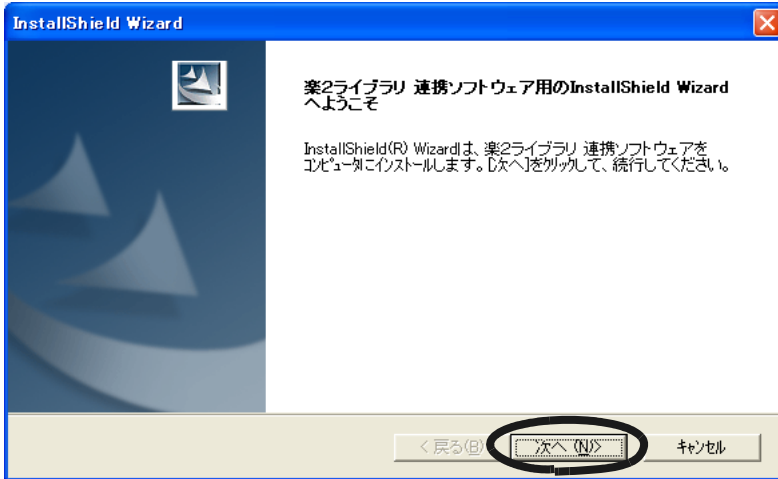


1. 製品 CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。



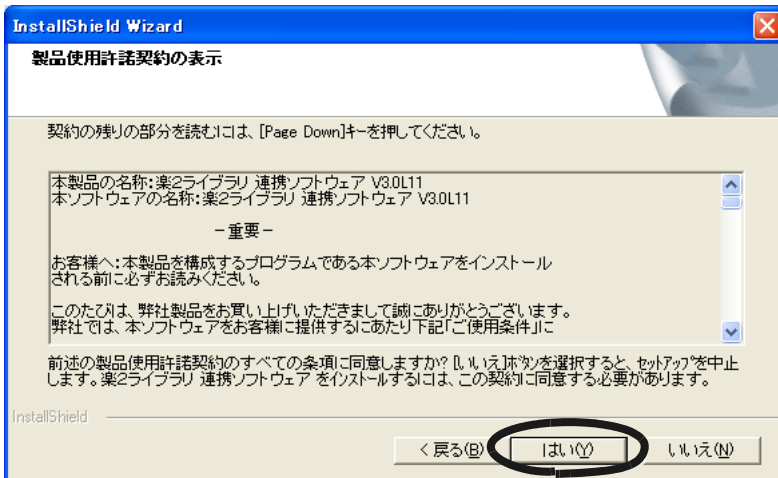
2. 「Raku2AutImp」内の「setup.exe」を実行します。

3. [次へ] ボタンをクリックします。



「製品使用許諾契約」の画面が表示されます。

4. 「製品使用許諾契約」の内容を確認して、[はい] ボタンをクリックします。



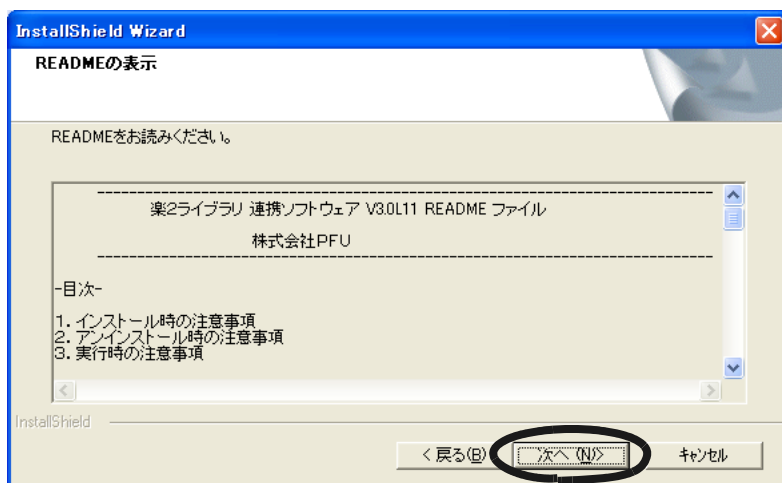
[いいえ] ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

「楽2ライブラリ 連携ソフトウェア」をインストールする場合は、製品使用許諾契約に同意してください。

[はい] ボタンをクリックすると、「README の表示」の画面が表示されます。

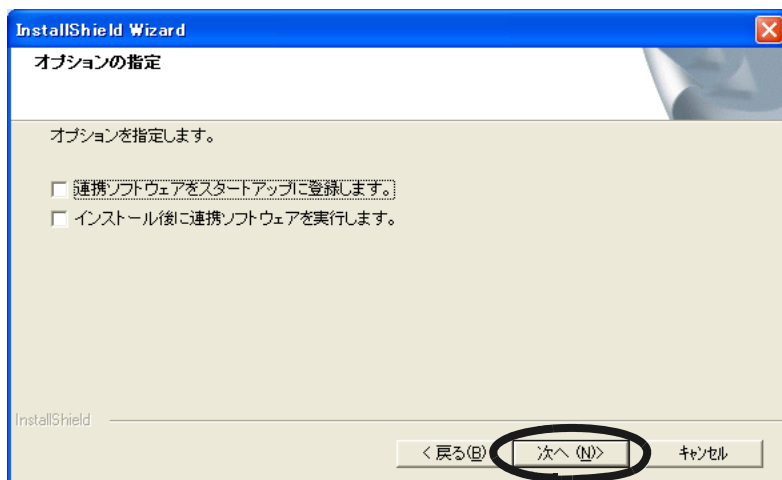
5. 「README」の内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

「README」には、インストール時の注意事項など、本書には記載されていない留意事項や参考になる情報が記載されています。必ず確認してください。



「オプションの指定」の画面が表示されます。

6. 必要なオプションを指定して、[次へ] ボタンをクリックします。



「ファイルコピーの開始」の画面が表示されます。



インストール先は楽²ライブラリインストールフォルダに
固定されています。

7. [次へ] ボタンをクリックします。


連携ソフトウェアがインストールされます。

インストールが完了すると「InstallShield Wizard の完了」の画面が表示
されます。

8. [完了] ボタンをクリックします。

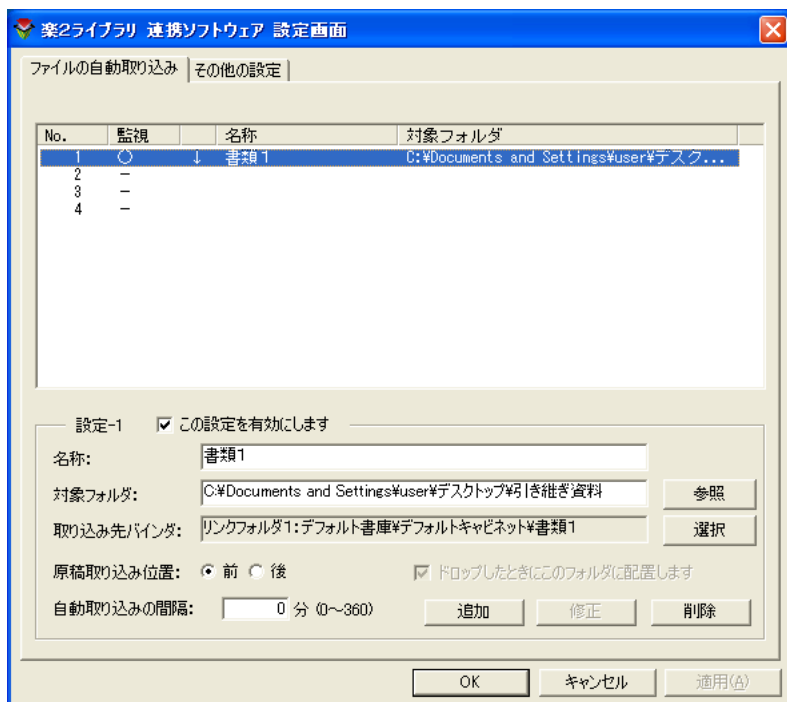
設定する



1. デスクトップ上に作成された、連携ソフトウェアのプログラムアイコン () をダブルクリックします。または、タスクトレイアイコンをダブルクリックします。

「楽2ライブラリ 連携ソフトウェア 設定画面」が表示されます。

2. 各項目を設定します。



- ・ **この設定を有効にします**
自動取り込みを行う設定にチェックします。
- ・ **名称**
監視設定の名称を設定します。

- ・ **対象フォルダ**

自動取り込みの対象となるフォルダを指定します。

[参照] ボタンをクリックし、[フォルダの参照] ダイアログボックスから指定してください。

- ・ **取り込み先バインダ**

対象フォルダ内のファイルを、どのバインダへ登録するかを指定します。

[選択] ボタンをクリックし、[バインダの選択] ダイアログボックスから選択してください。

- ・ **原稿取り込み位置**

取り込まれた原稿を、バインダの前に挿入するか後に挿入するか設定します。

- ・ **自動取り込みの間隔**

自動取り込みを行う間隔を、0 ~ 360 分の範囲で指定します。初期値は0分です。

- ・ **ドロップしたときにこのフォルダに配置します**

ファイルをデスクトップの連携ソフトウェアのアイコン上にドロップしたとき、どの設定で取り込みを行うのかを選択します。

- ・ **追加**

「設定 -1」 ~ 「設定 -5」の他に設定を追加する場合、「名称」や「対象フォルダ」などの設定内容を指定した後にクリックします。設定は最大 30 まで可能です。

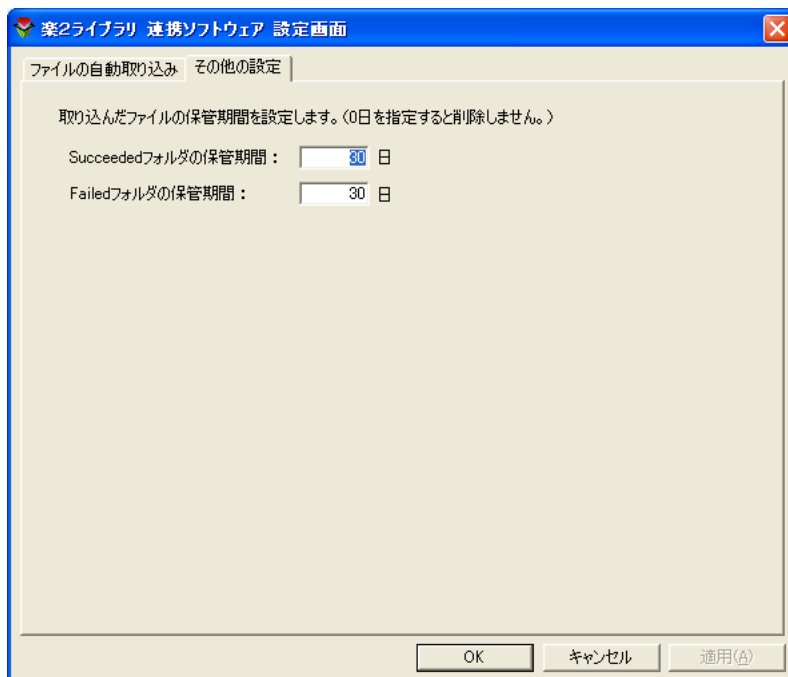
- ・ **修正**

設定を修正する場合、設定内容を修正した後にクリックします。



まって!

設定の変更・追加・修正は、設定一覧に反映されても、すぐには有効になりません。[OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じたときに有効になります。



- **Succeeded フォルダの保管期間**

取り込みに成功した場合、対象フォルダ下の「Succeeded」フォルダ内に日付を表す名前のフォルダが作成され、その中にファイルのコピーが保管されます。この保管されたファイルの保管期間を設定します。

0 ~ 999 日の範囲で指定でき、初期値は 30 日です。

0 日を指定した場合、ファイルは削除されません。

- **Failed フォルダの保管期間**

取り込みに失敗した場合、対象フォルダ下の「Failed」フォルダ内に日付を表す名前のフォルダが作成され、その中にファイルのコピーが保管されます。この保管されたファイルの保管期間を設定します。

0 ~ 999 日の範囲で指定でき、初期値は 30 日です。

0 日を指定した場合、ファイルは削除されません。


3. [OK] ボタンをクリックします。

設定されます。

データを取り込む



1. 楽²ライブラリへ登録したいファイルを、対象フォルダへコピーまたは移動します。

または、連携ソフトウェアのデスクトップアイコン () にドロップします。

ファイルは、取り込み先バインダへ登録されます。

登録が成功すると、ファイルのコピーは、対象フォルダ内の「succeeded」フォルダへ移動されます。失敗すると、「failed」フォルダへ移動されます。



- ・ ドロップした場合、ファイルは、対象フォルダにコピーされ、取り込み先バインダへ登録されます。
- ・ ドロップ時の対象フォルダおよび取り込み先バインダの設定は、「設定する」(202 ページ) を参照してください。



- ・ ファイルのドロップは、ビューア画面を閉じた状態で行ってください。
- ・ 複数のファイルを一度にドラッグ&ドロップする場合、楽²ライブラリに登録されるファイル順は任意となります。
- ・ 登録がすべて完了した場合、[succeeded] フォルダや [failed] フォルダ内に退避されたファイルを削除することをおすすめします。
- ・ 解像度が大きいカラーデータ (400dpi 以上) を登録する際、登録完了するまでに時間がかかる場合があります (特に、横長データを含む場合)。



第9章



困ったときには

この章では、楽²ライブラリの操作中にトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

《現象》

スキャナ (TWAIN 対応) で原稿を読み取る場合、常に同じ設定条件 (読み取り面、色数、解像度など) で読み込まれてしまう。

ビューア画面の [動作環境の設定] ダイアログボックスで、「スキャナ読み取り時のドライバ画面表示」を「表示する」に設定します。設定後、スキャナ読み取りを実行すると、ドライバ画面が表示され、条件を指定して読み取ることができます。また、上記の設定を「表示しない」に戻すと、指定した条件が有効なまま、スキャナドライバ画面を表示せずに読み取ることができます。

《現象》

ファイル取り込みで取り込まれたイメージの文字がにじんで見えたり、かすれて見えたりする。

ビューア画面で、[動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの「解像度」を、高く設定してください。ただし、この場合、データのサイズが大きくなります。

《現象》

ファイルの取り込み時、イメージ変換されずにプリンタから出力されてしまう。

対象ファイルを作成したアプリケーションが起動されています。アプリケーションを終了してからイメージ変換してください。

《現象》

ファイルの取り込み時、正常にデータが取り込まれない。

対象ファイルを作成したアプリケーションが起動されています。アプリケーションを終了してからファイル取り込みしてください。

《現象》

ファイルの取り込みに時間がかかる

ビューア画面で、次のいずれかの対処をしてください。

- ・ [動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの「解像度」を、低く設定してください (推奨値は 200dpi です)。
- ・ [動作環境の設定] ダイアログボックスの [入力設定] タブの「色数」を、「モノクロ」にしてください。

《現象》

ページめくりを行う場合のアニメーション速度が遅い。

ビューア画面で、[動作環境の設定]ダイアログボックスの[めくり設定]タブの値を、速い設定にしてください。

《現象》

[動作環境の設定]ダイアログボックスで、「色数」の設定を「モノクロ」にしても、ファイル取り込みを行うと、カラーのイメージが作成される。

ビューア画面の[動作環境の設定]ダイアログボックスの[入力設定]タブの「色数」と「解像度」の設定は、イメージ変換してファイル取り込みされる場合（Microsoft[®] Word や Microsoft[®] Excel などを取り込んだ場合）にだけ有効です。

《現象》

保存またはエクスポート機能で保存した PDF ファイルをビューア画面で開けない。

ビューア画面で、[動作環境の設定]ダイアログボックスの[動作環境の設定]タブの「PDF ファイルの関連付け」を、「ビューア画面（本製品）の起動」にしてください。

このように設定しておくで、PDF ファイルをダブルクリックすると、ビューア画面が起動されるようになります。

《現象》

Microsoft[®] Excel のファイル（.xls）を取り込んだとき、1 シートの表示が 2 ページにまたがってしまう。

以下の手順で Microsoft[®] Excel の設定を変更し、再度、ファイルを取り込んでください。

1. 対象の Excel ファイルを開きます。
2. [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
3. 印刷画面の「プリンタ」の「名前」で「Raku2 ImageWriter」を選択して、[印刷プレビュー] ボタンをクリックします。
4. 1 シートの表示が 1 ページに収まっていない場合は、余白や設定を調整して、[閉じる] ボタンをクリックします。
5. Excel ファイルを保存して、終了します。

《現象》

Microsoft® Word のファイル (.doc) を取り込んだとき、図の位置などが元の表示内容と異なる。

以下の手順で Microsoft® Word の設定を変更し、再度、ファイルを取り込んでください。

1. 対象の Word 文書を開きます。
2. [ファイル]メニューから [印刷] を選択します。
3. 印刷画面の「プリンタ」の「プリンタ名」で「Raku2 ImageWriter」を選択して、[閉じる] ボタンをクリックします。
4. [印刷プレビュー] ボタンをクリックします。
5. 元の表示内容と異なる箇所があれば、余白や設定を調整して、[閉じる] ボタンをクリックします。
6. Word 文書を保存して、終了します。

《現象》

PDF ファイルを取り込むと、データ内の一部が文字化けしてしまう。

PDF ファイルの名前が半角 30 文字以上（全角 15 文字以上）の場合、半角 30 文字目（全角 15 文字目）の次の文字が全角文字であれば、半角文字に変更してから、再度ファイルを取り込んでください。

《現象》

元原稿（電子データ）の修正時、正常にデータが反映されない。

対象ファイルを修正したアプリケーションが起動されている場合は、アプリケーションを終了させてください。

対象ファイルを修正したアプリケーションが常駐モードに設定されている場合は、常駐モードを解除してください。

《現象》

PDF ファイルの関連付けを本製品（ビューア）に変更しても、PDF ファイルの関連付けが Adobe Acrobat 製品（ ）に戻る場合がある。

（ ） Adobe® Acrobat®、Acrobat® Reader®、および Adobe® Reader® を「Adobe Acrobat 製品」と表記しています。

PDF ファイルと楽²ライブラリ（ビューア画面）が関連付けされている場合に、楽²ライブラリで開けない形式の PDF ファイルをダブルクリックして Adobe Acrobat 製品を起動し、下記のメッセージで [はい] ボタンを選択したために、PDF ファイルの関連付けが Adobe Acrobat 製品に戻った可能性があります。

- Adobe® Acrobat® 5.0 の例
「現在、設定上の問題があるため Web ブラウザで PDF ファイルを表示できません。Acrobat で設定を修正しますか？ Acrobat 起動時は必ずこのチェックを実行」
- Adobe® Reader® 6.0 の例
「Web 上の Adobe PDF 文書は、Netscape と Internet Explorer で表示できます。しかし、この機能が現在無効に設定されているため、Web 上の PDF 文書は別のウィンドウに表示されます。
この機能を有効にして、PDF 文書をブラウザで表示できるようにしますか？ Acrobat 起動時は必ずこのチェックを実行」

以下の手順で、改善することができます。

1. ビューア画面の [環境設定] ボタンをクリックし、
[動作環境の設定] タブの「PDF ファイルの関連付け」で、
「ビューア画面（本製品）の起動」を選択します。
2. [OK] ボタンをクリックします。
3. 楽²ライブラリでは開けない形式の PDF ファイルをダブルクリックすると表示される上記のメッセージで、「Acrobat 起動時は必ずこのチェックを実行」のチェックをはずし、[いいえ] ボタンをクリックします。

《現象》

楽² ビューア (ビューア画面) をインストールしたときに、「ドライバのインストールに失敗しました。」のメッセージが表示される。

また、画像形式以外のファイル取り込みができない。

以下の手順で「Raku2 ImageWriter」をインストールしてください
(オペレーティングシステムによって、ボタン名や選択項目名が異なります)。

1. コンピュータを再起動します。
2. [スタート]メニューから [コントロールパネル] - [プリンタとFAX] を選択し、[プリンタの追加] をクリックします。
プリンタの追加ウィザード画面が表示されます。
3. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
4. 「プリンタポートの選択」の画面で「次のポートを使用」を選択し、ポートのリストから「LPT1 :(推奨プリンタポート) 」または「Raku2Port」を選択します。
5. [次へ] ボタンをクリックします。
6. 「プリンタソフトウェアのインストール」の画面で、[ディスクを使用] ボタンをクリックし、CD-ROM ドライブの「RkImageWriter」フォルダ内の「RkImageWriter.inf」を選択します。
7. ウィザード画面に従って、操作を進めます。
8. ハードウェアのインストール画面が表示されたら、[続行] ボタンをクリックします。

これで、プリンタに「Raku2 ImageWriter」が追加されます。

《現象》

ファイル取り込みや他のアプリケーションの印刷メニューから、テキストデータ（ファイル）を取り込んだ場合、バインダを開いて表示される文字列の内容やサイズが元データと異なる。

取り込まれたデータがテキスト PDF に変換されたときに起こりうる現象です。

以下の手順でイメージ PDF に変換する設定にしてください。

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル] - [プリンタとFAX]を選択します。
2. 「Raku2 ImageWriter」上で右クリックして[プロパティ]を選択します。
3. [全般]タブの[印刷設定]を選択し、「イメージ PDF」を「オン」に変更します。

《現象》

ファイルを自動取り込みしたが、バインダに登録されない。

対象フォルダを確認してください。

ファイルのコピーが、「succeeded」フォルダに移動されずに残っている場合は、設定画面を開き、チェックボックスにチェックされているか確認してください。

ファイルのコピーが「failed」フォルダに移動されていた場合は、そのファイルを対象フォルダへ移動して、再度確認してください。

第 10 章



メッセージ

この章では、楽²ライブラリの操作中に表示されるメッセージとその対処方法について説明します。メッセージは五十音順に記載しています。

10.1 バインダ管理画面のメッセージ

バインダ管理画面の操作中に表示される主なメッセージと、その対処方法について説明します。

書庫内に一つのキャビネットもないため、バインダを新規作成することができません。

対 処 書庫にキャビネットを作成してから、再度、バインダを作成してください。

入力されたキャビネット名が既に存在します。

対 処 キャビネット名を別の名前に変更してください。

入力された書庫名が既に存在します。

対 処 書庫名を別の名前に変更してください。

バインダを選択してください。

対 処 バインダを選択してから、再度、操作してください。

ビューアがインストールされていません。インストールを行ってください。

対 処 ビューア画面をインストールしてください。

プログラム内部エラーが発生しました。

対 処 システム管理者に連絡してください。

未入力又は空白の項目があります。

対 処 項目を正しく入力してください。
空白文字が入力されている場合は、空白文字を削除してください。

10.2 ビューア画面のメッセージ

ビューア画面の操作中に表示される主なメッセージと、その対処方法について説明します。

印刷処理でエラーが発生しました。

対 処 プログラムを終了してから、再度、印刷してください。

拡大表示処理でエラーが発生しました。

対 処 プログラムを終了してから、再度、拡大表示してください。

クリップボードへのコピー処理でエラーが発生しました。

対 処 プログラムを終了してから、再度、クリップボードに原稿をコピーしてください。

指定されたファイルが開けません。

対 処 ファイルの内容に異常がないかどうかを確認してから、再度、ファイルを開いてください。

指定範囲は 10 ~ 30 です。

対 処 インデックスシートのタグ（凸部）の長さは、インデックスシートの縦幅に対して、10 ~ 30%の範囲で指定してください。

電子データの修正中にエラーが発生しました。

対 処 プログラムを終了してから、再度、電子データを修正してください。

貼り付け処理でエラーが発生しました。

対 処 プログラムを終了してから、再度、原稿を貼り付けてください。

**ファイルの保存処理でエラーが発生しました。
ディスクの状況（空き容量や属性）を確認して、再度実行してください。**

対 処 ディスクの空き容量やファイルの属性を確認してから、再度、
 ファイルを保存してください。

**ファイルの読み込みに失敗しました。
ファイルの内容やディスクの状況を確認して、再度実行してください。**

対 処 ファイルの内容やディスクの空き容量を確認してから、再度、
 ファイルを読み込んでください。

付箋紙の保存処理でエラーが発生しました。

対 処 プログラムを終了してから、再度、付箋紙を付けてください。

**ページ数が最大登録ページ数（XXX）を超えるので、保存できません。
最大登録ページ数を超えないようにして再度実行してください。**

対 処 不要なページを削除してから、再度、保存してください。

**編集情報の最大数は 10 個のため、追加することができません。
不要な編集情報を削除して、再度実行してください。**

対 処 付箋紙とマーカとハイパーリンクは、1 ページあたり合わせて
 最大 10 個まで追加できます。
 不要な付箋紙、マーカまたはハイパーリンクを削除してから、
 再度追加してください。

索引



数字

1 ページずつページをめくる .. 111

F

fi-4110EOX2 と連携する 46
fi-4110EOX3 と連携する 46
fi-5110EOX2 と連携する 44
fi-5110EOX3 と連携する 44
fi-5110EOX と連携する 44

P

PDF 保存 (指定した原稿) 150
PDF 保存 (すべてのページ) .. 148
PDF 保存 (名刺) 182

S

S500 と連携する 42
ScanSnap からページを読み取る
..... 104
ScanSnap と連携 (fi-4110EOX2)
..... 46
ScanSnap と連携 (fi-4110EOX3)
..... 46
ScanSnap と連携 (fi-5110EOX2)
..... 44

ScanSnap と連携 (fi-5110EOX3)
..... 44
ScanSnap と連携 (fi-5110EOX)
..... 44
ScanSnap と連携 (S500) 42

T

TIFF 保存 (名刺) 182
TWAIN 対応のスキャナからページを
読み取る 102

あ

アクセス日時を確認する 86
アップグレード 38
アンインストール 36

い

移動 (原稿) 157
移動 (バインダ) 81
移動 (名刺) 178
印刷する 145
印刷する (名刺) 183
インストール 30
インデックスシートを付ける .. 134
インポート 91

え

エクスポート 88

か

回転する 113

拡大して表示する 122

画面 19

画面構成（バインダ管理画面） .. 20

画面構成（ビューア画面） 22

環境設定 97

環境（ソフトウェア） 27

き

起動（バインダ管理画面） 50

キャビネット 17

キャビネットの名前を変更する
..... 63

キャビネットの表示形式を切り替える
..... 69

キャビネットの表示順を変更する 67

キャビネットを削除する 65

キャビネットを作成する 61

け

原稿 6

原稿の並び順を変更する 153

原稿を PDF 保存する 150

原稿をコピーする 160

原稿を削除する 155

原稿を貼り付ける 162

検索する文字列を入力する 139

検索対象を設定する 138

検索（バインダ） 93, 96

検索（ページ） 140

こ

コピー（原稿） 160

コピー（ページ） 166

コピー（名刺） 179

困ったときには 207

さ

削除（キャビネット） 65

削除（原稿） 155

削除（書庫） 57

削除（バインダ） 79

削除（名刺） 181

作成（キャビネット） 61

作成（書庫） 54

作成（バインダ） 71

作成（未整理バインダ） 75

作成（名刺シート） 176

作成（名刺バインダ） 73

サムネイルを表示する 136

し

指定した範囲を拡大する 122

終了（バインダ管理画面） 51

終了（ビューア画面） 52

消去（ページ）	168
書庫	17
書庫の名前を変更する	55
書庫の表示順を変更する	59
書庫を削除する	57
書庫を作成する	54

す

スキャナの動作環境	27
すべてのページを PDF 保存する	148

そ

ソフトウェアの環境	27
-----------	----

て

電子データを削除する	175
電子データを修正する	173
電子データを取り込む	106

と

動作環境	26, 186
動作環境（スキャナ）	27
動作環境（ハードウェア）	26
特長	16
トラブルシューティング	207

な

名前の変更（キャビネット）	63
---------------	----

名前の変更（書庫）	55
並べ替え（バインダ）	84
並び順を変更する	153

は

ハードウェアの動作環境	26
ハイパーリンクを設定する	128
バインダ	17
バインダの格納場所を確認する	86
バインダ管理画面	19, 20
バインダ管理画面の画面構成	20
バインダ管理画面の起動	50
バインダ管理画面の終了	51
バインダ管理画面のメッセージ	216
バインダ内にある原稿の枚数を 確認する	86
バインダに関する情報を確認する	86
バインダをアクセス日時の新しい 順に並べ替える	84
バインダを移動する	81
バインダを検索する	93
バインダを削除する	79
バインダを作成する	71
バインダを出力する	88
バインダを取り込む	91
バインダを編集する	77
貼り付け（原稿）	162
貼り付け（名刺）	180

ひ

ビューア画面	19, 22
ビューア画面の画面構成	22
ビューア画面の終了	52
ビューア画面の表示	52
ビューア画面のメッセージ	217
表示形式の変更 (キャビネット)	69
表示順の変更 (キャビネット)	67
表示順の変更 (書庫)	59
表示範囲を変更する	121
表示方法を変更する	118
表示 (ビューア画面)	52

ふ

ファイルサイズを確認する	86
ファイル自動取り込み	198
ファイルを取り込む	106
複数の原稿を指定する	163
付箋紙を付ける	124

へ

ページ	6
ページにハイパーリンクを設定する	128
ページに付箋紙を付ける	124
ページにマーカを引く	126
ページの表示範囲を変更する	121
ページの表示方法を変更する	118
ページ読み取り (ScanSnap)	104

ページ読み取り (TWAIN 対応の スキャナ)	102
ページを 1 ページ単位で表示する	118
ページを印刷する	145
ページを回転する	113
ページを検索する	96, 140
ページをコピーする	166
ページを上下反転する	115
ページを見開きにする	118
ページをめくる (1 ページずつ)	111
ページをめくる (自動)	112
編集 (バインダ)	77

ま

マーカを引く	126
--------	-----

み

未整理バインダを作成する	75
未読文書を表示する	133

め

名刺シート (名刺用の原稿) を 作成する	176
名刺バインダを作成する	73
名刺を PDF 保存する	182
名刺を TIFF 保存する	182
名刺を印刷する	183
名刺をコピーする	179

名刺を削除する	181
名刺を上下反転する	177
名刺を貼り付ける	180
名刺を名刺ファイリング OCR で 管理する	185
名刺をメール送信する	184
メール送信 (ページ)	167
メール送信 (名刺)	184
メッセージ (バインダ管理画面)	216
メッセージ (ビューア画面) ...	217

も

目次情報を設定する	131
元のファイルを削除する	175
元のファイルを修正する	173

ら

楽2 ライブラリの画面	19
-------------	----

れ

連続して自動でページをめくる	112
-------------------------	-----



楽²ライブラリ パーソナル ユーザーズガイド

P2WW-2180-01Z0

発行日 2006年2月

発行責任 株式会社 PFU

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
無断転載を禁じます。